

三商同窓会報



No.57

平成30年8月1日発行

ホームページアドレス

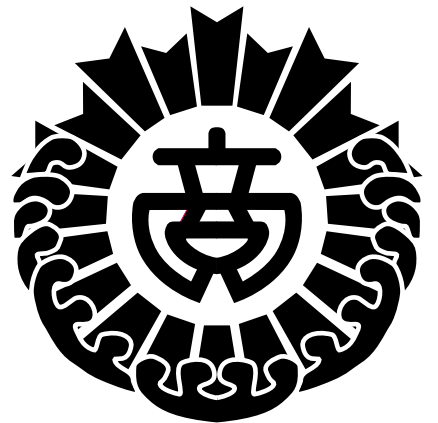
<http://tcsaa.jp/>

三商創立 90 周年記念号



都立第三商業高等学校創立90周年記念行事
平成29年11月11日 於ティアラこうとう

校歌



作詞 前田 夕暮
作曲 山田 耕筰
編曲 脇 則之

都の空は明けたり、今
希望は燃ゆる若きわれら
都立第三商業、ここに拠るや
日本の富を担ふわれら

富岳の雪を望む窓辺
理想は高し、若きわれら
都立第三商業、ここに居るや
都の栄えを築くわれら

東都の海の門にありて
心は濶し、若きわれら
都立第三商業、ここに立つや
江戸の誇りを継げるわれら

応援歌

作詞 多田 友次郎
作曲 池内 政憲
編曲 青山 憲

見よ、三商の旗じろし
T・C・Sの行くところ
旭日洗ふ波がしら
ここに刻む若人の
勝算すでに吾にあり
頑張れ三商、頑張れ三商
(ふれっ・ふれっ・振れー)

聞け、三商の底ぢから
T・C・Sのはた風は
歴史が語るその誉れ
受け継ぎ来たる若人の
命の誇り吾にあり
頑張れ三商、頑張れ三商
(ふれっ・ふれっ・振れー)

見よ、三商の鉄の陣
T・C・Sの旗の下
正義に結ぶ和のこころ
明るく強き若人の
凱歌はすでに吾にあり
頑張れ三商、頑張れ三商
(ふれっ・ふれっ・振れー)



三商同窓会報 第57号 CONTENTS

校歌・応援歌	82期	池田ゆり	18	30期同期会(三八会)	藤倉久男	31
目次	74期	櫛田優美子	18	23期傘寿の会	小暮 清	32
—ごあいさつ—	82期	加藤なつみ	18	26期	古田勝一	33
同窓会会長	85期	河野麻衣	18	富士銀行OB会 29期	木村博信	33
都立三商学校長	三商主幹教諭	河原田一郎	19	放送部 30期	近藤若三郎	34
—創立90周年記念行事—	28期	吉沢靖子	19	22期の皆様へ 22期	篠崎 清	35
中山校長先生式辞	55期	初山 優	19	31期同期会のお知らせ		35
記念式典・行事概要	三商会評議員	小坂久美子	20	三菱電機OB会(東雲会) 29期	仲田元昭	35
スライド上映(写真)	22期	篠崎 清	20	珠算部(三珠会) 23期	小暮 清	36
ブラバン演奏(写真)	28期	鷲 嘉雄	21	—エッセイ・報告—		
ダンス部演技	31期	西邨昭一	21	一商100周年に行ってきました 26期	古田勝一	37
記念祝賀会概要(写真)	28期	若月健司	22	流行り言葉は世相の小窓 21期	高野 昇	38
—母校90周年に想う—	26期	岩瀬和子	22	私の東京大空襲 23期	須田 誠	41
19期	90周年行事実行委員長	三浦康二	23	三希展を終えて 26期	水上健二	42
三商副校長	—同窓会活動報告—		23	羽生善治国民栄誉賞 山中伸弥ノーベル賞		
30期	—役員・評議員名簿—		29	両氏の対談に学ぶ 22期	荻野弘康	44
29期	—同窓会行事案内—		30	遠くなったあの日の事件 21期	高野 昇	45
49期	—同期会等開催報告—			母校の体育祭 26期	岩瀬和子	46
28期	ミニミニ会(24期)	横田豊一	31	編集部より		47
75期	〃	尾坂富美子	31	広告のページ		48

ごあいさつ

さあ創立100周年への栄光の船出



同窓会会長
第31期 三浦康二

昭和3年1月に東京都で3番目の商業学校「東京府立第三商業学校」として誕生し、現在の都立第三商業

高等学校となり、地域の名門商業高等学校として昨年創立90周年の佳節を迎える事ができました。本年より次の創立100周年を目指してさらなる母校と在校生の発展を願って私たち同窓会はより一層の努力と支援をもって栄光の100周年に向かって大海原を出航してまいりたいと思います。

都立三商は生徒がすばらしい。その素晴らしい生徒がいる学校もすばらしい。そのすばらしい学校にいる先生がすばらしい。この良き伝統と歴史と誇りをもって進んでまいりたいと思います。

哲人ルソーの言葉には「生きるとは呼吸することではなく、行動することである」とあります。歴史を築くのも私達の一步一步の努力が必要であります。同窓会が何かをしてくれるのではなく、同窓会、母校のために私達は何かができるかが大切です。

憲政の神様と呼ばれた尾崎行雄は「人生の本舞台は常に将来に在り」その言葉は慢心する者を戒め、失意の中にある者をふるい立たせる。現在の成功に満足してしまえばさらに大きな仕事はできない。

私達同窓会も次の100周年の佳節に向って全員で力を合せて進んでまいります。人を尊敬する人は人か

らも尊敬される。人に慈愛をそぐ人は自分も人から守られる。環境とは根本的には「自分の姿が映った」結果だと思えます。

三商同窓会は全員がボランティアの心で友情と信義に基づきさらなる発展の為に頑張つてまいります。

平成30年度のスタートにあたり



都立第三商業
学校長 中山博之

日頃より同窓会及び公益財団法人「東京三商会」の

皆様には本校の教育活動にご理解、ご協力、ご支援を賜わりお礼申し上げます。平成27年4月1日付で着任し、4年目を迎えました。同窓会からは、平成27年度に「言語能力向上拠点校」、平成28年度に「東京オリンピック・パラリンピック教育重点校」及び「アクティブ・ラーニング推進校」、平成29年度に「祝東京都立第三商業高等学校 創立90周年記念」及び「地域連携推進モデル校」、今年度は「パワーアップハイスクール」の懸垂幕を寄贈していただき有難うございます。また、東京三商会の給付型奨学金につきましては、まさに本校生徒を物心両面で支えていただいております。保護者・教職員一同、感謝の念に堪えません。本当にありがとうございます。

昨年の11月11日(土)に「ティアラこうとう」にて挙行しました「創立90周年記念式典」及び「記念祝賀会」には、多くの同窓生が参加をしていただきありがとうございます。同窓会の三浦康二会長、岩瀬和子前会長、杉本光男事務局長、古田勝一監事には、記念式典の2年前から創立90周年記念式典準備委員会委員として関わっていただきました。大成

功に終わることができましたのも、偏に準備委員会の献身的な準備のおかげです。本当にありがとうございます。

さて、近年において、「ダイバーシティ」と言う言葉を、たびたび見聞きします。ダイバーシティとは、多様性のことであり、幅広く性質の異なるものが存在すること、相違点などと直訳されます。また、「ダイバーシティ」をインターネットで検索すると、この概念は、もともと米国において、マイノリティや女性の積極的な採用、差別のない処遇を実現するために広がったものなどという説明もあります。日本においても、少子高齢化などといった社会環境の変化などによって、個人においても、組織においても、多様性を認める、求められている流れになっていきます。多様性を認める、多様性を持つということとは、身体的な違いのみならず、意見や考えの違い、価値観の違いなどといった水面下にある目に見えない部分を、まずは受け止めることではないでしょうか。しかし、多様性を認める、持つことの大切さは、頭では理解できるものの、自分とは違った物事などを受け止めるということは、なかなか難しいことでもあります。「学校は社会の縮図である。」とも言われます。三商生には、友人同士・部活動・委員会・クラス・生徒会・学校全体という様々な集団の中で、お互いに切磋琢磨し、汗と涙を共にする仲間同士、一緒に成長して欲しいと願っています。商業教育の名門校である三商に入学し、ビジネスを学び、簿記や情報処理を扱えるというすばらしい技能を学んでいます。おおいに自信と誇りを持って、日本が抱える急激な少子化、労働生産の低迷、国際的な経済のグローバル化という厳しい時代を乗り越えることができるダイバーシティ的人財として成長することを

期待しています。
最後に、創立90周年記念式典を創立100周年への輝かしい通過点とし、本校教職員一同、さらに気を引き締め、「生徒一人ひとりが光り輝く学校『SUN商』」の実現に向け邁進することを誓い、「平成」最後の寄稿といたします。

創立90周年記念行事

中山校長先生式辞

鮮やかな紅葉の季節となり、秋の気配も深まってまいりました今日の良き日、東京都立第三商業高等学校創立90周年記念式典を挙げるにあたり、

東京都議会議員

山崎 一輝 様

あぜ上美和子 様

白戸 太郎 様

細田 いさむ 様

江東区議会議員 佐竹 としこ 様

をはじめ、多数の御来賓の方々、並びに保護者・同窓会の皆様の御臨席を賜り、心より厚くお礼申し上げます。

そして、東京都教育委員会を代表して、東京都東部学校経営支援センター支所長兼経営支援室長・藤井常光（ふじい つねみつ）様、のご列席を賜りました。

本校は、昭和三年一月三十一日に東京府立第三商業学校として創立し、第一期生は、明治小学校幼稚園跡で授業を開始し、同年8月に数矢小学校に移転、昭和5年4月に校舎第1期工事が完成して現在の地に移転しました。

設立時の草創期は、「リトルジェントルマンを創る」「三商生は小紳士」「制服は背広にネクタイ」「満州・

朝鮮・支那方面への商業大視察旅行を実施」「修学旅行はサンフランシスコ」「朝礼は毎日、上級生の指導講和を実施」「授業は7時間、土曜日も6時間授業」「上級生は下級生に英語と漢文を教える指導授業を実施」「修身の教科書に論語を使用」「英語経済はジイドの経済原論の原書を使用」「英語商事要項の名称でグレイビーのビジネスメソッドを習得」「卒業式後は帝国ホテルで祝賀晩餐会」等々、これらのフレーズを聞いただけでも、壮大な理想に基づく教育活動を実践していた設立草創期や興隆期の様子を過去の記念誌から読み取ることができます。

昭和十年代は、折りしも戦争へ向かう時期、国策により造船工業に転換を余儀なくされ、一時期は造船工業学校が併設されました。昭和十五年より定時制課程を併設、さらに、学制改革により、昭和二十三年七月に現在の東京都立第三商業高等学校と改称され、戦前の草創期、興隆期、そして戦中期、戦後の混乱期を乗り越え、平成三十年一月、めでたく創立九十周年を迎えます。

今日に至るまで、歴代の校長をはじめ数多くの教職員の方々、並びに本校全日制課程・定時制課程で学んだ二万七千名を超える卒業生の皆様、さらには行政関係各位には本校教育の充実・発展のために多大なご尽力を頂いたことに対し、心から深く感謝申し上げます。

このたび周年行事を企画・運営する僥倖に恵まれました私共、教職員の責務は、九十年の歴史を念頭に置き、現実をしつかりと踏まえながら、誇るべき百周年に向け、今まで以上に地域から愛される学校、なくてはならない学校としての基盤を再構築することにあると考えております。

この九十年の間に、本校は商業科としての専門高校

の強みを十二分に発揮し、就職、進学、資格取得、部活動、学校行事、地域との連携などに着実な成果をあげ、一時期は「天下の三商」として存在を顕示してまいりました。

また、ここ二十年の都立高校改革において、学校を取り巻く環境が大きく変化し、本校にとっても教育活動を見直す機会となりました。国際ロータリークラブとの連携によるインターシップ事業推進校、言語活動推進指定校、東京オリンピックピック・パラリンピック教育推進校、アクティブ・ラーニング推進校、地域連携推進モデル校、「奉仕」の科目名を「ライフビジョン」として、企業、商店街、ボランティアセンター、保育園、特養施設等の協力のもと、学校で学んだ知識を、学校外にて実践するボランティア活動体験等を契機として学校改革を大きく前進することができ、「生徒一人ひとりが光り輝く学校『SUN商』」を合い言葉に、江東区越中島深川地区の商業高校として現在も進化を遂げています。

さらに、本校の位置する現在の江東区臨海部エリアは、東京都の中でも目覚ましい発展を遂げている地域です。富岡八幡宮や深川不動尊の由緒ある神社・仏閣により、門前町として栄えた門前仲町、江戸の台所、築地市場や、その一部が移転する豊洲市場を含めたウォーターフロント地区に集まる新興企業、昔ながらの風情と近未来都市を連想させる環境が整いつつあります。

また、昭和十五年二月に第二本科の名称でスタート、昭和十八年度に第一回卒業生八十九名を輩出した定時制は、昭和二十八年四月には、定員千九十名と改正され、東京一のマンモス定時制になりました。その後、生徒数は減少の一途をたどり、現在は1年生から4年生までの生徒数五十五名となり、近年は、

授業規律の整った学校、安心して学べる学校、資格取得ができる学校としての評価を得ています。

「都の空は明けたり 今」、本校校歌の1行目、出だしの歌詞です。この校歌の冒頭の一節に、私は三商の持つ歴史的役割の偉大さを感じます。「日本の富を担うわれら」「都の栄を築くわれら」「江戸の誇りを継げるわれら」。時代は変われども、校舎内では現在も、競い合い、励まし合い、汗や涙を共に流し、目標達成に向かって努力する姿や、元気で明るい挨拶、真剣に学ぶ活気と若者らしいすがすがしい声とがいつも満ち溢れています。

さて、昨今の社会状況に目を向けると、新しい産業、新しい職業が生まれている一方で、既存の職業の多くは近い将来新たなビジネスモデルに入れ替わらざるを得ないという状況があります。仕事が機械、ロボット、インターネット等に置き換えられることにより、人が担う仕事は知覚、感覚、コミュニケーション等、人間特有の能力を発揮できる領域へと変化していくことが予測されます。さらに、経済面では、製造業からサービス産業へ、物から価値の提供へ、ハードからソフト分野に一層移行して行くものと思われまます。

また、教育界では、教育改革を行っている最中であり、現在行われている教育改革は、幕末から明治にかけての教育の改革に匹敵する大きな改革であるという位置づけられています。本校におきましても、今年度末に告示される高等学校新学習指導要領の趣旨を踏まえ、「実務に役立つ」「ビジネス社会に活用できる」教育課程の検討を行っている最中です。

九十周年を迎えるこの年に、三商に在籍している生徒諸君！ 諸君や卒業生にとっては、自分が学び、青春時代を過ごした学校、「三商」を愛し、母校と

して生涯かわりをもつ学校が将来ますます「よい学校」に発展することを願うのは自然な心情です。「伝統は歴史ではなく、絶えまない創造である」と言われます。これまでの九十年の伝統を引き継ぎ、新たな歴史を積み上げつつ、みなさんの若く明るく元気なエネルギーで学校生活を充実させ、三商生として誇りを持ってグローバル化した国際社会に巣立って欲しいと思います。

増築・改修を重ねてきた校舎も、平成二十四年度に大規模改修工事が始まり、平成二十六年には新しい校舎の完成と共に「新たな三商の歴史」が始まっています。都教育委員会の支援はもとより、保護者・PTA関係者・同窓会・地域の皆様方には、今後とも第三商業高校への一層のご支援・ご協力を重ねてお願いし、式辞といたします。

平成二十九年十一月十一日

東京都立第三商業高等学校長 中山 博之



当日の様子



式辞挨拶をする、三浦同窓会会長

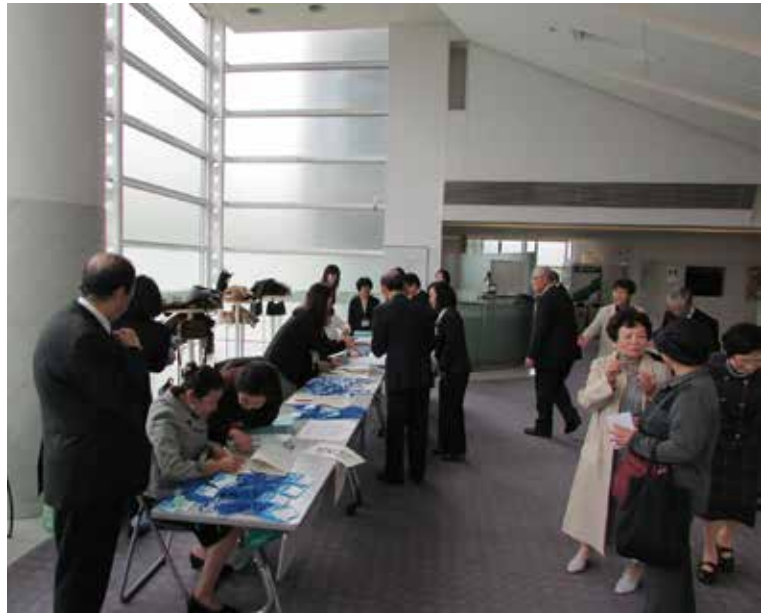


生徒代表式辞生徒会長郡司さん

記念式典概要

日時
平成29年11月11日(土) 午前10時
場所
江東区江東公会堂(ティアラこうとう) 大ホール

— 式次第 —
開会式の
国歌斉唱
校長式辞
東京都教育委員会挨拶
東京都公立高等学校長協会祝辞
来賓祝辞
来賓紹介
生徒代表のことば
校歌斉唱
閉会の辞



記念行事概要

日時
平成29年11月11日(土) 午前11時
場所
江東区江東公会堂(ティアラこうとう) 大ホール

— 式次第 —
三商九十年スライド
ガラスバンド部演奏
ダンス部演技



開会前の大ホール

スライド上映



ブラバン演奏

スライド上映の次は、ブラスバンド部の演奏です。現役生と共にOB・OGのみなさんが忙しい合間を縫って練習に参加して、今回の演奏会にこぎつけました。当日は息もぴったりの演奏が繰り広げられ、会場からは万雷の拍手が鳴りやみませんでした。





演奏の途中からは中山校長先生をはじめ、三商の教諭陣も飛び入り参加。先生たちのサプライズな演出に、在校生たちも大歓声。途中にインタビュータイトムもあり、一味違うアットホームな演奏会となりました。



ダンス部演技



ブラスバンド部合同演奏会の次は、三商ダンス部によるダンス演技です。年配の同窓生のみならずには「ダンス部？」とピンとこない方もいらっしゃるかもしれませんが、いまや高校の半数以上にダンス部があります。我が三商も運動部系で最も部員の多い人気の部となっています。

さまざまな衣装を身にまとい、ガールズヒップホップやブレイクダンス、ジャズダンスなどのストリートダンスを次々と繰り広げていきます。3年前にはダンススタジアム夏の大会で関東甲信越大会を勝ち抜き、全国大会にも出場した人気、実力とも三商を代表するクラブです。



記念祝賀会概要

日時 平成29年11月11日(土) 午後1時
 場所 江東区江東公会堂(ティアラこうとう) 大会議室

— 式次第 —
 開会の言葉 葉
 実行委員長の挨拶 葉
 校長の挨拶 葉
 来賓の祝辞 葉
 鏡開き 葉
 乾杯 葉
 懇談 葉
 歴代校長挨拶 葉
 同窓会挨拶 葉
 葛西ばやし天神会披露 (32期)
 オールデイズバンド演奏 (35期)
 P.T.よりお礼の言葉
 校歌・応援歌 葉
 万歳三唱 葉
 閉会の言葉 葉

大ホールにて行われた、記念式典及び記念行事に続いて、参加した同窓生と先生方、関係各氏は場所を地下の大会議室に移し、記念祝賀会が開かれました。90周年記念行事実行委員長でもある三浦同窓会会長、中山校長、ご来賓の祝辞を頂戴し、鏡開きの後、乾杯となり、テーブルごとに人の輪ができ、懐かしい話に花が咲きました。









母校90周年に想う

東京都立第三商業高等学校創立90周年について

第19期 細田安治

◇記念式典

三商は昨年秋11月11日創立90周年記念式典を江東区ティアラこうとうで盛大に行われた。19期生の仲間森莞、岡野静夫、正井伸也、池本覺、高野照三、宮下孟本、渡邊泰広、そして私、細田安治の8名で参加した。(以下敬称は省略します)。我々より年長者は15期小嶋皓一先輩、16期高野清先輩の2名のみだった。

◇焼け野が原に威風堂々の三商で旧制中学の最終年度で学ぶ昭和27年卒の我々19期生は、昭和20年大東亜戦争の敗戦の翌年、周囲はすべて焼け野が原のなか越中島の商船学校、日立製作所、木材防腐会社と三商の一角だけが焼け残っていた。特に三商は北向きの道路に面し、大きく東西に翼を広げたような校舎は周囲を睥睨し中央には時計台が聳え建っていた。

但し校舎のガラス窓は、割れ放題に割れ、満足な窓は数えるほどで惨憺たるものであった。時計台の時計も止まったまま。それでも三商の校舎は威風堂々としていた。

◇木材屋になれ

我が家の兄弟は男3人、女一人の4人兄弟の長男が私だ。親父は大正の末に、兄が婿入りした塩浜木工所に丁稚奉公で修業し昭和6年に独立、製材業を営んでいた。昭和20年の東京大空襲で工場も住まいも全焼したが、木場で一番に工場を操業し、東京の復興に尽力した苦勞人だ。親父から「お前は商売人の息子だ。商業学校に入つて商売人になれ」と言われた。家業が「木材屋」だ。「三商で確り商売を学び木材屋になれ」との厳命、これを受けて私は三商に入学できたことが嬉しかった。親父も喜んでくれた。

親父は「商売人の基本は算盤だ。算盤を習って、水揚げ丸太の算当たりをしなさい」と言われ、算盤塾に通った。夜は、「算当たり済み細田安治」のゴム印をもらい水揚げ丸太の算当たりをした。当時の店員は大雑把でけっこう計算が間違っていた。間違いを指摘すると嫌な顔をする店員がいた。ここでの教訓、確認チェックが商売の基本だ。

◇故藤井康三郎

平成14年藤井康三郎が音頭を取り、毎月19日には19期会の元氣者が集まり、午前10時30分から午後1時30分までの3時間ほど5〜8キロ程度のゆっくりとした散歩会を実施している。

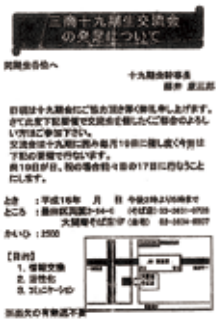
◇正井伸也からの情報

平成14年第1回参加者は21名であった。これらの情報を増淵義昌から伝えてもらった。『増淵義昌から19期会へのお誘いの手紙が来た。藤井康三郎からの19期会立ち上げの「はがき」のコピーも同封してあった。はがきは14年に書かれたものだが正井がこれを知り入会したのは平成16年2月19日だ』。この日は31人の参加があり盛大であった

1 藤井康三郎から19期会発足の案内のはがき、増淵義昌から勧誘の手紙

2 第一回19期会出席者氏名

3 増淵義昌



から19期会勧誘の手紙

◇故川名省三突然の区議会議員出馬

昭和64年、19期の友人である川名省三が突然江東区会議員に立候補することになった。

キャッチフレーズは、「深川の川名」だ。突然の出馬に驚いたが、「19期は同志の集まり」と自任しており、川名が立候補したからには、何が何でも当選させようと、藤井康三郎君が音頭取りになり、19期同志で、川名省三を当選させる会を作り応援した。

おかげさまで支持者も多く二千八百票を越える得票を頂き見事当選することができた。三商からは、美術指導の横山文夫先生(通称デッサン)が、当選祝いに一升瓶2本を抱え駆けつけてくれたことを思い出す。この当選から彼は、6期連続当選を果たし任期中は三人の区長、即ち小松崎区長、室橋区長、山崎区長を助け自民党議員の重鎮として、議長の要職を務め数々の区政の発展に貢献した。平成23年4月に「目を患い」惜しまれつつ議員を引退した。

◇リーダーは元氣者森莞、幹事長正井伸也
私はずっと遅れて平成23年4月19日正井伸也より7年遅れて参加した。当時のリーダーは中野貞三、現在は19期一番の元氣者森莞がリーダーとなつて



我々を引っ張ってくれている。リーダーの補佐役として、正井伸也が取りまとめ役として活躍してくれている。会の連絡、病人の見舞い、イベント時にはマネージャーとして人数の調整等など、行き違いの調整など、これが結構ある。80歳すぎまでの元気者はそれぞれ一言言を持っており、この一言から時々行き違いが発生する。年寄りには・ものばかりなのでこの調整がなかなかだ。彼は上手に調整役をはたしている。酒は一切飲まず所謂「ノミネーション」は使わず、「ノミネーション」が上手である。彼のおかげで19期会は「もめごと」は起こらず丸く収まっている。「持つべきは友なり」は彼の人柄を表している。

◇ここは俺の席

当初の散歩会20人以上、そのほかに散歩はせず懇親会にだけ集まる元気者が大関庵に15人程度が集まり総勢35名近くになることもあるほどの盛会であった。私は平成23年から参加した新参者だ。発会から九年目、ひと昔遅れで入れてもらった。

当時は、勝手に自分たちが指定席を決めていた。「いまでもそうだ」そんなことを知らずに、空いた席に座っていると、「ここは俺の席だ」と言われる。隣へ座ると別ものが現れて「俺の席だ」と言われた。新参者の座る席がなく、ウロウロしていた。こんな時、正井伸也が現れて、不参加者の空席を見つけてくれた。私は「こんなことはやっていられない」と自分用の携帯椅子を持って大関庵へ行った。ところが何回目か庵主大関君に見つかり、「ここは俺の店だ。席は俺がつくる」と言われ、正井と一緒に椅子を探して、細田用の椅子を出してくれた。そんなこんなで、多人数過ぎて「嬉しい悲鳴」があがるほど盛会であった。

◇同窓会も飛び入り参加

和気あいあい、ワイガヤの楽しい会合である。同窓会関係の参加者も数多い。3代前の会長は19期の木戸隆吉だ。2代前は25期柴崎晴雄、直前会長岩瀬和子(26期)ほか小野田良子(25期)尾坂富美子(24期)前副会長などが散歩会から飛び入り参加で盛り上がっている。

□故人となった学友の冥福を

尚残念ながら故人となった藤井康三郎、川名省三他多数の学友が悲しいが極楽へ旅立っている。戦後何もない焼け跡時代から、苦しいこと、楽しいことを「共に過ごした友」のことを思うにつけ、「何とも言えないもの」が湧き上がってくる。ご冥福を心から祈念申し上げます。尚先に旅立った学友たちの為にも、19期元気者はいつまでも、百歳までも元気でいることを合言葉にしている。

□同窓生に感謝

今、細田木材には、三商の同窓生が私を含め現在6人が在籍している。全て真面目で優秀な社員ばかりだ。それも全員女子である。今回の原稿を彼女達に頼んだところ、全員が母校の為に快諾し提出してくれた。三商卒は素晴らしい。私もこんな嬉しいことはないと心底から感謝している。

尚同窓生を6名(自分を含めて)紹介すると以下の通りである。

- 榊田優美子 平成19年74期
- 中尾清香 平成20年75期
- 池田ゆり 平成27年82期
- 加藤なつみ 平成27年82期
- 河野真衣 平成30年85期
- 細田安治 昭和27年19期

□学校と同窓会に感謝とお願い
学校についての感謝の念とお願いは、三年間の学校教育で確り生徒を仕込み三商校歌にある「一番 日

本の富を担うわれら」「二番 都の栄えを築くわれら」「三番 江戸の誇りを継げるわれら」の通り優秀な生徒を社会に送り出している校長、副校長をはじめ教職員の先生方に、深甚なる敬意を表するとともに深い感謝の念を申し上げます。今後も引き続きご指導をお願い申し上げます。

また、同窓会の役員の皆様には日ごろから大変お世話になっていことに感謝を申し上げます。「末筆ながら東京都立第三商業高等学校の益々の発展、同窓会活動の益々のご活躍、関係者皆様のご繁栄とご健勝を祈念申し上げ終わります。(文中の失礼は平にお許しを) 完

写真2枚の説明

第100回三商19期・懇親会平成23年4月19日大関庵参加27名学友のみ細田安治 初参加 正井伸也提供
第187回三商19期・懇親会平成29年9月19日大関庵15名学友のみ

追記「持つべきは友なり」であります。同期の友には「友のおかげで今日があり、健康長寿でいられると信じております」19期元気者は百歳までの健康長寿を祈念申し上げます。



第100回 三商十九期・懇親会 平成23年4月19日(大関庵) 於 大関庵



第187回 三商十九期・懇親会 平成29年9月19日(大関庵) 於 大関庵

東京都立第三商業高等学校創立90周年にあたって

都立三商全日制課程 副校長

加藤哲次

90年という歴史。この90年は太平洋戦争という歴史上最も悲惨な出来事を挟み、昭和から平成へ。戦争による混乱期から急速に発展した時代、好景気、不況、オイルショック、バブル経済等、様々な経済変動を経てきました。こんな時代を生き抜く人材、国の発展に寄与する人材の輩出を行ってきた三商の偉大さを考えずにはいられません。まさに日本の発展を支えてきた三商といえるでしょう。今後も100年、110年・・・未来永劫社会の発展のためにより活躍していく三商生をしっかりと育てていきたいと思いません。

去る11月11日(土)「ティアアラこうとう」にて、創立90周年記念式典、記念行事が盛大に行われました。式典・記念行事では都議4名をはじめ、11名のご来賓、生徒、教職員、学校関係者、同窓会、PTA等千百人もの参加者がありました。記念行事では本校自慢のダンス部がダンスを披露し、ブラスバンド部はOB・OGが主催するオーケストラとコラボして演奏しました。まさに夢の競演でした。お忙しいなか何度も練習に来ていただきご指導いただきました。生徒たちも本当に幸せだったと思います。さらに記念誌につきまして、多くの方のご執筆をいただき、素晴らしい記念誌になりました。歴史と伝統を感じさせるものになりました。創立90周年記念式典等の準備は2年前から十分に行っていました。同窓会の三浦会長をはじめ、多くの方のお力により素晴らしい創立90周年記念式典等ができましたこと

本当に感謝申し上げます。

私も商業科の教員として昭和63年に東京都に採用されました。以来商業高校3校で教鞭をとり、その後3校で副校長として商業高校にお世話になりました。三商は今アクティブ・ラーニング推進校、地域連携推進モデル校、パワーアップハイスクールとして取り組んでいます。さらに今後の新教育課程実施に向けてどんな生徒に育てたいのか、そのためにはどのような力をつけさせていくのかというグランドデザインを構築し、教育課程の作成に取り組んでおります。学校での指導にとどまらず、地域の方々のお力を借り、また保護者や同窓会のご協力を得ながら、生徒に生きる力をつけさせたいと取り組んでいます。これから迎えます100周年への10年。スタートして全力で取り組んでいきます。よろしく願います。

三商時代

第30期 藤倉久男

都立三商創立90周年を迎え、同窓会報は90周年記念号と紙面を増大するので、三商時代の思い出、卒業してからの半生記等を書いてほしい、との依頼がありました。

昭和38年卒業ですから、55年を経過しており、記憶から遠くなるばかりで、あるいは思い違いもあるかもしれませんが、読んで方で「それはこうでしたよ」とご指摘頂ければ幸いです。

昭和35年4月入学ですが、試験は2月で2日間でした。確かこの年は定員割れでした。全員合格ではなかったと思いますが、前年までは競争率がはげしくて、敬遠した人が多

かったのが原因らしい。試験当日、私の席はストロブに近くて、鼻血を出して医務室で手当てをしてもらった。

生徒会の役員時代、文化祭の企画で、講演会講師として、上野の赤札堂に、三商の先輩で小泉一矢衛生長を訪ねて交渉し、その場で了解を得た。確か授業中で、先生の許可を得て上野に行った。

NHKラジオの「高校生の時間」に私と何人かで出演した。録音したあとに放送されたこと記憶している。読売新聞の記者に質問する役で、「岸信介首相の東南アジア訪問について」が議題であった。竹田先生と内幸町のNHKに行き、お土産にノートと鉛筆を頂いた。

就職については、「生徒一人に八社」の時代で、殆どが誰でも知っている会社へ。私は東京銀行に入りましたが。七月に入って、古暮先生から、七月下旬に東京銀行の面接があるから受けてはどうかと言われた。どうせ合格はしない、と軽く受けた。面接は何と、東京銀行から人事の人が三商に来て、校長室で。確か五人受けて、落合清秀さんと私が内定。しかも面接当日に内定したのにはびっくり。10月1日が試験日。東京銀行本店の食堂で。内定しており、試験は形式だから落ちることはない、と人事の人が言ったことを覚えている。入行後に浅草支店に配属となり、顧客からは三商卒業と言うと、知らない人はいない位で、今でも卒業して本当に良かったと思う。

東京銀行大阪支店には二回赴任したが、取引先でも都立三商を知っている人が結構いた。効果に「日本の富を担ふわれら」これからも商業高校として、存在感を発揮し、創立100周年に向かってほしい。

有意の青年を社会に

第29期 土方敏之

三商、この言葉は好きだ。
なんとも言えない安心感につつまれる。そのひびきは私の胸の中と共鳴するなにかがある。

九十年の歴史の中には、時代時代による影響を受けてきたのだろうが、その中の一つに先輩達から伝えられた、先生達のすごさ。名物のような存在だったとか。個性の強い先生に導かれた生徒。すばらしい優秀な先生と生徒がつくってきた校風。
その伝統が今につながっている。

三商を失うな、後々に続けて立派な人間を育成し続けて欲しい。

現在の政治、経済、官僚にみられる精神が墮落して、行いが悪い人達のその活動と行動、言葉。
そこには人としてお手本になる事は何も無い。

三商を生き残れ、同窓生よ、三商が生き続けるために立ちあがれ、日本のために。

拝啓 都立第三商業高等学校様

第49期 星名恵子

創立九十周年記念行事を無事に終えられたとの事。誠におめでとうございます。

九十周年の間に大勢の生徒たちを迎えて、大勢の生徒たちを迎えて、卒業させたのでしょね。私もその一人として加えて頂きありがとうございます。

中学校三年生だった私は学校見学で、初めてあなたを訪れ、大きな時計台に心を奪われてしまい受験することに決めました。

無事に入試で合格し、入学が決まった時はとても嬉しかったです。

校舎は古かったけど、その分威厳を感じさせていましたね。

高校生活はやはり、中学時代と違い行事も多く、いくつかの実行委員会などをした事、今も思い出深いです。

卒業してからは長い間あなたに会う事もなかったのですが、子供の入学によってまた再会する事になりましたね。

その時のあなたはもう時計台のある昔の校舎ではありませんでしたが、とても懐かしい思いがした事を覚えています。

今でも、あなたを訪れると心休まる気がします。これからも温かく迎えてくださいね。

子供が在学中のPTA活動を通して同窓会の方々と知り合い、先輩方の三商愛の深さに驚き、感心いたしました。八十周年の時も九十周年の時も精神的に学校を支援し、また大勢の同窓生の方々が参加してくださいました。

本当に頭が下がる思いです。
私はまだまだ諸先輩の方々の三商愛には到底及びませんが、少しずつ三商愛を高めていこうと思っ

ているのでよろしく願っています。

三商時代の思い出

第28期 小林慎典

私は、昭和三十三年四月都立第三商業に入学しました。この年の二月時計台のある三商を近所の先輩に連れられて見学に行きました。「この学校に入るぞ」と決め、当時、スベリ止めとして私立を受験す

る人が多かったのですが、単願（一校のみ受験）としました。

通学は国鉄（今のJR）小岩駅から錦糸町駅、錦糸町駅からは都電28番線で富岡町まで、この都電が朝はいつも満員でドアが閉まらなまま発車することもありました。今では考えられません。富岡町からは徒歩でした。

入学してすぐ中学（小岩二中）からやっていた卓球部に入りました。当時、卓球場は柔道部と同じ部屋なので、柔道部の畳を上げて卓球台を出して練習開始です。中学の部活とは全く違いました。まずトレーニング、中でもランニング、鬼跳び、私の苦手なものばかりです。でも二年の体育祭の十キロマラソンで4位に入賞できたことはびっくりしました。

部長の杉本光男さん（第26期）の厳しい指導のおかげと感謝しております。おかげさまで平成二十年三月開催の「東京マラソン」も無事完走できました。

卓球部の思い出の中で一番楽しく、辛いことは夏の合宿でした。静岡の御殿場の公民館を借りて、朝食前のランニング、昼食前の百本連打、出来るまで昼食取れません。でも、三時の休憩、スイカは楽しみでした。今は卓球部も無いようで残念です。

同窓生の皆様、同窓会の行事に参加下さい。よろしく願っています。

慌しく賑わった文化祭

第75期 中尾清香

三商は下町にある歴史ある学校で毎年開催された文化祭には在校生、OB・OG、チケット制であった為その招待客など大勢の来場者がお見えになりました。私が担当していたのは文化祭全体の受付対応

から始まりクラスの出し物であるダンスのリハーサル・本番、その後茶道部で活動していた私は浴衣に着替えて作法を披露していました。他クラスに回る時間はありませんでしたが充実した一日だったと記憶しています。この時に大切だと学んだことは、チームで何かを成し遂げることです。三商を卒業後、細田木材工業(株)へ入社してから10年が経ち、簿記やパソコンなどの実践授業は業務を行う上で一番今に生きていますが勉強以外で文化祭などのイベントは二度と出来ない経験となりチームで協力し合い目標達成するという大切さを学ぶことが出来ました。この経験を仕事にも活かしそれぞれ作業している内容が違ってもチームとして目的とすることは同じと意識して、これからも初心を忘れずいきたいと思っております。

三商で過ごした3年間

第82期 池田ゆり

私は在学中にパソコンを使う授業を積極的に受けていました。それまでは使う機会が無くエクセルやワードなど使いこなす事ができませんでした。入学当初は初めてのことがばかりで覚える事が楽しく、どんどん吸収していくことが出来たのを覚えています。特に情報処理の授業が好きで、友人に教えながら自分も知識を深めていきました。そのおかげで仕事に役立てることができました。新しく表を作り直すことが、と依頼された時はすぐに作る事ができ、先輩には「早く出来るとも助かる」と言われたことがとても嬉しかったです。今は新しい仕事も増えて、部長から指導を受けています。その中で、こうしたらもつと効率上がるのでは、と考えるよ

うになり自分で作りたいと思うデータを作成できるようになりました。これも三商で勉強した事が活かされた例だと思います。今後自分の力がどこでも通じるように基本を忘れずに日々勉強に励みたいと思います。

部活動では軽音楽部に所属しており、文化祭以外にも地元のお祭り等に参加し、活発に活動していました。顧問の先生方が親身になって打ち合わせやアドバイスをしてくれたおかげでもとても充実した日々でした。三商で過ごした3年間は内容の濃い思い出ばかりです。卒業をしてから一度も三商に行っていないので、機会があれば少し見学をしたいと思っています。

三商の思い出

第74期 櫛田優美子

卒業後の私の仕事の内容は事務です。しかし事務一つとっても、受付・電話応対、伝票処理、営業補佐や業種特有の作業など様々な細かい仕事があり、その作業を日々行っております。

卒業してから10年以上経っていますので記憶が薄れてしまっていますが、三商に在学していた時の思い出といえば、二年生の時の友達との交流がとても思い出に残っております。放課後、何気なく教室に残り友達とおしゃべりしたり騒いだりとてもありきたりな事ですが、私にとっては高校三年間の中で一番楽しかった思い出です。

私が今働かせて頂いている細田木材工業株式会社の相談役は三商の卒業生ということもあり、その縁もあって18歳から今日まで働かせて頂いております。そのことにとっても感謝しております。

微力ながら細田木材に貢献できるようにこれからも邁進して参りたいと思います。

三商を卒業して

第82期 加藤なつみ

私は三商卒業後、新木場の細田木材工業(株)に勤めています。開発部に所属しており、主な業務内容は集客目的の情報発信です。入社してから毎週、メールマガジンとFAXの編集と配信、また、営業用のチラシや製品案内を作成しました。

日々の業務において、三商で学んだことは充分活かせていると思います。

高校時代、情報処理の授業内で何度もパソコンを操作する機会がありました。私は家にパソコンがないので、今思えば授業内で行ったことは大変重要であったと感じます。また、他部署の仕事を手伝う機会もあります。伝票入力や計算関係は毎日のように電卓を操作していたので機能や計算速度、正確性などは高い方だと思います。

実践の授業は事務所で働く自分にとってはとても役に立つものでした。その中でも一番、電話応対に於いての話し方(敬語)は三商だからこそ身についたと思います。

今年で入社して4年目になりますが、三商に入学して良かったと日々感じています。今後もより一層、毎日の業務で、三商で学んだ知識を最大限に発揮できるように努めていきたいです。

三商を卒業して

第85期 河野真衣

本年卒業致しました河野真衣と申します。70社ほどの求人票の中から『細田木材工業(株)』を見つけ受けさせて頂きました。そして無事就職試験に合格し、4月から入社し現在は日々業務に励んでおります。三商時代では友人と共に学校の授業や検定勉強に勤しみ毎日充実した生活を送ることができました。友人たちと過ごした時間は心から三商にきてよかったと思わせるような素敵な思い出です。入社してからは優しい先輩方に毎日ご指導いただき来客されるお客様に緊張しつつフレッシュに明るく過ごしております。

地元三商としての誇り

都立三商進路指導部主幹教諭

河原田 一郎

創立90周年記念式典が盛大に挙行され、たくさんのお窓生の方が駆けつけていただき感無量でした。私がかような、第三商業に赴任して8年が過ぎようとしています。

はじめて、この第三商業を訪問した時は、豊洲駅より来ましたが、豊洲運河の5mの水門や背後に見えるてくる夜景の美しさは東京でもこんな綺麗な場所があるのかと感動したものでした。

赴任して以来、地域の様々な方々との協働を通じて下町情緒あふれる人情にふれてまいりました。生徒と一緒に毎年2回行われる深川仲町商店街のお中元、歳末福引抽選会での新鮮野菜即売会や抽選会のお手伝いは地元で愛される三商として元氣あふれる声での販売活動は他の学校がうらやましがる親近感や地元愛があります。

さらに、同窓生でもある石島商店組合理事長様の

紹介で深川観光協会主催のお江戸深川さくら祭りでの江東区和舟友の会の方々とも交流ができました。大横川の水運をめぐり、さくら満開の舟旅は、花筏と呼ばれる川面に浮かぶ桜の花びらいっぱい風景は、本当に心洗われる時を生徒と一緒にたくさん訪れる観光客の乗船の手伝いでは、深川観光協会に三商ありと呼ばれ、うれしいかぎりです。

地元の人達と江東区和舟友の会の方々との交流は、私自身の人生の中でも貴重な体験と感動を与えていただきまた、感謝しております。

また、古石場文化センターでの子ども夏祭りでの課題研究の生徒達との「親子ルームブレス教室」では親子連れが笑顔で3つ一組編み上げていくルームブレス作業は毎年長蛇の列で江東ケーブルテレビの取材も受けたりもしました。

人間だから寂しい時も、楽しい時もある、声に出して言えないこともあるのでは？

一度しかない自分・・・何かを想い、何かにぶつけるのも必要だと思えます。

涙、泪、涕。どれも訓読みは「なみだ」。悲しい涙あり、うれし涙あり、そして感動の涙あり。古来私達は、人生や歌、映画、文学の局面に涙してきました。子どもはもらい泣きをしないですから。大人たちには普段はふたをした感情があつてその出口が開かれる瞬間に涙があふれるのではないのでしょうか。

私は、長い教員生活の中で第三商業の歴史の重みや誇りある伝統の絆の中で教壇以外から様々な関わりをもたせていただき、感謝していますし、感動の涙をたくさん感じる事ができ、第三商業で本当に働

かせていただき、本当によかったと思っています。多くの同窓生や地元から愛されている三商が今後ますます発展していくことを祈念してやみません。三商万歳！

三商時代の思い出

第28期 吉沢靖子

月並ですが、卒業以来58年と、気の遠くなるような時間が経過、目を閉じればあの時計台、校舎の下には水がたまっているとの噂、見に行く？行かないと騒いだ事。3年生の時は東側のプレハブ校舎でした。平屋なので、窓からとび出し授業をさぼる生徒もいました。

3組の授業が分かり、実践室と呼ばれておりました。60才前後に「さんぼ塾」なるものを立ち上げてくださる方にめぐまれ、東京の町々を、東海道五十三次の宿場、品川宿、波よけ神社、浅草界隈・・・。日本で初めて出したパスポートの写し？も見ました。

東京に住んでいなくても、すべて新しい発見でした。齊藤先生が日頃「おまえら仲良くしろよ」とおっしゃった意味が分かるような気がしました。

三商の思い出

第55期 初山 優

思い起こせば30年前、高校の3年間は沢山の楽しい思い出が出来ました。少し振り返ってみたいと思います。

入学してまもなく部活紹介がありました。私は中

三商同窓会90周年に向けて

三商会評議委員 小坂久美子

学では卓球部だったのですが、その部活紹介でとても楽しそうな先輩方を見て、大して泳ぎは上手くないのに一緒に楽しみたいと言う理由から水泳部に入部しました。普段の活動や合宿など練習はきついものでしたが、やはり、思った通り、楽しいことが沢山ありました。合宿ではみんなで日の出を見たり、

シーズンオフには夢の島プールに行つて練習もしました。仲間と過ごす時間はとても楽しかったです。そんな部活動の中でも三商祭準備は良く覚えています。クラブごとに色々と役割があったのですが水泳部は看板を担当していました。大きな板に三商祭をイメージした絵を書いてペンキで色を塗つた看板を入り口などに飾りました。何を覚えているかと言うと、水泳部員のジャージにはペンキがついていた事。

その頃の伝統だったようです。あれから月日がたち、3年前、娘が同じ三商生になりました。私はPTA役員になり創立90周年記念行事に携わることが出来ました。式典後の祝賀会では司会をやらせて頂きました。緊張はしましたがとても楽しい時間を過ごすことが出来ました。同窓生と笑顔で語り合う先輩方を見ると、おそらく当時に戻つて教室でおしゃべりをしているような感覚なのではないかと思うほど楽しそうで、そのような場所に一緒に居られたことはとてもいい経験になりました。

さて、私はこの度同窓会理事に就任いたしました。微力ではございますが、母校の発展に力を尽くして参りたいと念願しております。今後とも引き続きご指導ご厚情を賜りますようお願い申し上げます。5年後には同窓会結成90周年、その先には創立100周年がやって来ますので、そのときはまた皆さんと大いに楽しみたいと思います。

都立第三商業高等学校同窓会、90周年おめでとうございませう。

我が家では、歴史と伝統ある三商に息子二人が通わせて頂きました。

上の子供が三年の時に80周年がありました。あれから10年余りが過ぎた今でも三商の友達と仲良くしています。

それくらい、三商での高校生活が楽しく、良い仲間にも恵まれました。

そして私は、下の息子の時にPTA会長、現在は、三商会の評議委員をさせて頂いております。

同窓会の方々とお付き合ひの中で、本当に三商を愛し、誇りに思つてるのがわかりました。

私の同級生にも三商生はたくさんいます。これからも、100周年、110周年とさらに歴史を積みあげていく事を楽しみにしています。

振り返ってみた三商時代

第22期 篠崎 清

母校三商が創立90周年を迎える事が出来ました事をお喜び申し上げます。

小生は小学3年生の時に終戦を迎えたのでそれから9年間三商を卒業するまで国の経済は大変な時代でした。どの学校にしても設備は何もない時代を過ごしてきた感があります。小学校も、中学校も、都立三商も3校すべて私が卒業した翌年にプールが新設された時は本当にがっかりした記憶が残っており

ます。

三商1年の時、体育の時間にやり投げの遠投があったのですがやりといつても節だらけの竹の先を細く削つただけのやりだったのには驚いたものでした。でも成績は子供のころから経験していたおかげで一番になった記憶があります。

部活にしても何がしかのクラブに所属しなければならぬという事で悩んだ末卓球部に入つたのですが卓球台は一台しかなく先輩も数人しかおらずあまり練習したことはありませんでした。ただ部室が校庭のはずれのほうに有りましたので隠れ部屋として利用して居りました。こんなこと今では想像すら出来ませんね。今お付き合ひのある26期以降の卓球部の皆さんの時代には十分に練習して好成績を残していた話を聞くにつけ私よりのち2、3年の間に施設が改善されていった様子を感じうらやましく思っております。

もう一つ当時は映画部という部がありまして何をすることもなしに所属しているだけで映画館のビラ下券という無料券がもらえる情報を得て早速入部してこれは大変ありがたく利用させて頂きました。通学も錦糸町駅から都電を利用しておりましたので駅前にあつた江東劇場・本所劇場と二つの映画館がありましたので大いに堪能させて頂きました。学生時代の思い出はこれまでとして、「健康は富に勝る」という言葉があるように健康の為に現在もゴルフ・ボーリングと40年以上毎週楽しんでおります。まだ現役で仕事しており毎日規則正しい生活のおかげで元気なんだと自負しております。しかし年齢を考えると、家の中で出来る趣味を何か探しておこうかとも思い始めております。「母校を懐かしみ、思い出に当たりまして、」母校を懐かしみ、思い出に

浸る。未知の間柄の人も百年の知己なることもできる」こんな言葉もありますので同窓生の皆さん一度学校・同窓会行事に参加してください。何かが変わります、お待ちしております。

三商、それは我が人生

第28期 鷲 嘉雄

☆入学まで

月日の経つのは早いもので昨年母校三商の90周年行事を皆様とともに盛大に行った事が昨日の出来事のようにです。80周年、90周年と記念の式典に参加できたことは、自身健康で元気であることに感謝しております。これからも三商魂で生活をしていきたいと思えます。さて、私は深川牡丹町一丁目生まれ、親は日頃から近所の三商生の背広の制服、蛇腹の学生帽をかぶった生徒をみていたようで、志望校は迷わず三商を受験したことを覚えております。戦後は北砂に移転、砂中からの受験でした。

☆在学中

憧れの時計台のある校舎に入学。クラスは1年9組。担任は名将宮脇清自先生、後でわかったことでしたがその時代の体育会系の第一人者、体育の授業では腕立て前進等があり、私自身中学校で野球等スポーツをやっていたので体力には自信がありました。が、悲鳴をあげた記憶が今でもよみがえります。部活は野球、しかし手に打撲を負い選手生命終了、退会。その後生徒会会長選に立候補、小さな公約を掲げ、友人の応援演説をもらいながら各クラスに遊説をしたり、自由闊達な環境をつくってくれた当時の学校の器量の大きさには感服しました。会長選は残念ながら落選しましたが生徒会に参加。生徒会活動、

とりわけ三商祭の企画実践、各部予算交渉会議等皆さんとわいわいガヤガヤ楽しみました。また、九州への修学旅行も忘れられない出来事でした。都立高校としては初めての汽車と船での長旅でしたが、見聞が広まり大海に出た思いがして成功であったと自負しております。もう一つ、算盤が苦手で検定資格を持たない私に「最低3級をとらないと卒業させない」と言われ、あわててそろばん塾に通い、かうじて資格を取り今では楽しい思い出になりました。

☆社会人

憧れの背広の制服、蛇腹の帽子をかぶり都電に乗って通学した時計台の校舎ともお別れし社会人に。配属された支社に三商の先輩がおり良く自宅に誘われて夕食の御馳走を頂いた楽しい思い出もあります。又同期の親しい仲間で歴史の会を立ち上げ参画し、勉強会を行ったり懇親会をやったり大いに楽しんでおります。同窓会の役員にもお誘いいただき微力ながら協力できていたのかなと思っております。現在後期高齢者の75才、これからも三商魂と、強い目的意識を持ちながら100周年まであと10年、元気に行動して行こうかと思っております。

同窓会活動に思う

第31期 西邨昭一

昨年11月11日に、都立三商の「創立90周年」祝賀記念行事が盛大に執り行われましたこと、大変嬉しく思っている次第です。

私は、前回東京オリンピックが開催されました年の昭和39年(1964)に都立三商を卒業し、三菱地所(株)に入社しましたが、在校中に頂きました「創

立35周年記念」と刻まれた白いアクリル製の直定規を今でも愛用しています。

三菱地所(株)を平成13年に早期退職し、その後、名古屋のデイベロツパー宝不動産(株)の副社長を経て、現在は長年に亘る不動産取引に関わる知識を消費者のために役立てたいと思い、(一社)千葉県宅地建物取引業協会の専任相談員として、日々消費者からの相談業務を行っています。

ところで、同窓会会則の第2条に「本会は会員相互の親睦を図り、東京都立第三商業高等学校の発展に寄与することを目的とする。」とありますが、「創立90周年」を機に、同窓会としての母校支援活動の新たな取り組みに關しご提案させていただきます。

全国の公立のナンバースクール(三商を含め所謂名門校と称される学校)では、OBによる講演会やインターンシップなど、卒業生が在校生に対して様々な支援をしている例がみられます。

都立三商においても、社会の第一線で活躍しているOB・OGや既に現役をリタイアしたが各種の経験や能力を有する人材が多数存在していると思われま。これらの人的財産を活用し同窓会が主体となり現役在校生に生きた情報を提供したり、進路を考える上での社会体験を行う場を提供する等、母校に対する支援を通して「特色ある学校創り」に参画し、母校の更なる発展のために寄与しては如何でしょうか。同窓会による母校支援活動を通じて、現役三商生が同窓会というものを意識し、同窓会への帰属意識が醸成されることも期待され、同窓会にとっても有益ではないかと考える次第です。

最後に、「創立100周年」という大きな節目に向け、都立三商および同窓会の益々の発展を祈念申し上げます。

恩師の思い出

第28期 若月健司

平成29年11月11日に举行された創立90周年祝賀行事に出席してから、6ヶ月余を過ぎましたが、この原稿を書くにあたり恩師の方々のことが懐かしく思い出されます。その当時のことが後期高齢者となった小生の人生に大きな影響を与えたことを認めざるを得ません。

*1年5組 佐藤卓先生、新潟県立柏崎商業高校から転入した右も左もわからぬ田舎者の小生に優しく接してくれました。小柄な先生から太目な万年筆での大きな文字の手紙を頂いたこともあります。又、社会人となった小生の勤務先の担当地区内に先生が三商から移られた学校があり、突然挨拶に訪れた折にも「よう、来た！来た！」と大歓迎を受けた思い出もあります。

*2年5組 宮脇清自先生、担任でもありましたが、器械体操部の顧問でした。「ちよと、来いや」と言われて側に行ったら最後、レスリング仕込みで押さえ込まれたものです。器械体操部は先輩が同好会として立上げ、その後、部に昇格したのですが、マット・鉄棒・平行棒しかなく、あん馬・吊り輪を近くの区立3中まで出掛けて、中学生に気兼ねしながら練習をする状態でした。毎年、当時の仲間であら忘年会をやって昔を語り合っています。

*3年7組 小暮敏雄先生、シャイな先生で、誠実さの影響を受けました。卒業後のクラス会の連絡に際しても丁寧な心遣いを頂いた思い出があります。パソコンが普及した当時、先生とメル友となり、先生の日常生活を知ることがありました。先生のお墓

が浦安にあり、娘さんの案内でクラス幹事数人でお参りにも行きました。

*史学部 古暮正雄先生、担任ではなく史学部の顧問でした。三商において一番影響を受けた先生です。在学中からご逝去まで、長い間、お付き合いいただき、感謝の気持ちが途絶えることがありません。仲間で毎年正月に自宅に何うとお酒が入り、先生の歌が始まります。「健ちゃん、お前もやれ！」とご指名です。先生の高説？が長く続くので帰りのタイミングを探るのが大変でした。その先生がご逝去された後も、三商卒業生の奥様が気さくな方で今でも我々とお付き合い頂いています。8月30日の先生の命日のお墓参り、一泊の忘年会を今年まで続けています。これもまとめ役の26期のK氏の存在が大きく、いつも感謝しています。

90周年記念行事が無事に終わって
(お料理が少なくてびっくり...)

第26期 岩瀬和子

祝賀会に大勢の同窓生の皆様にご参会いただきまして、本当にありがとうございます。式典準備委員の一員として盛大に行われましたこと、嬉しく思いました。

校長先生より祝賀会には30人出席してもらいたいと云われ、同窓会で頑張らなければいけないと思いましたが、三浦会長より各期にお願いさせて頂きました。

26期は6月に同期会を開催しました折、返信ハガキに記念行事の出欠の返事も書いてもらいました。当初出席希望者の中から30名抽選しようと思いましたが、校長先生のお願い若い期の人から会長からいわれた人数を募る事が出来ない事を耳にし、希望者全員に学校から案内状を発送してもらいました。母校のために使うならいいだろう、と46名分の会費は同期会会計より支出しました。

予算の件、80周年の時は東京三商会二百万円、運営協賛金(各期、OB会)三百九十四万七千五百八十五円、個人協賛金八十五万四千円ありましたが、90周年の時はそれがありません。少ない予算の中で残る物は記念誌などで、いろいろ見ましたが、布張りがいいということになり、同窓生でもある木藤先生にいろいろ折衝、検討していただきました。出来た物を見た時よかったですと思いました。木藤先生には大変ご苦労をおかけしました。ありがとうございます。

祝賀会のお料理が少なくてびっくりしました。四千円で30人分頼んでありました。翌日区役所へ苦情の電話を入れました。公共施設の中に入っている業者にしてはよくないと云いました。役所では申し訳ありませんでした、としか云いようがありませんが。

15期	1	29期	3
16期	1	30期	12
19期	8	31期	20
20期	11	34期	1
21期	4	35期	12
22期	10	39期	1
23期	1	48期	0
24期	26	49期	2
25期	8	学校来賓	25
26期	46	教職員	37
27期	9	PTA	53
28期	31	合計	322

祝賀会参加人数内訳

都立第三商業高等学校
創立90周年行事を終えて

90周年行事実行委員長

第31期 三浦康二



昨年11月11日(土) ティアラこうとうの会場にて私達母校都立第三商業高等学校の創立90周年祝賀行事が盛大且つ厳粛に挙行されました。人間に例えれば卒寿を迎えた事となり私達2万5千名の同窓生、そして在校生と共に最大に祝意と誇りをもって当日を迎えることが出来ました。前日からの雨模様の天気予報を日本晴れの好天気に変えて会場に心晴れ晴れと集まって下さる教職員先生、そして在校生、PTA、同窓会の皆様の顔は一同に都立三商90年の伝統と歴史と誇りを満面に浮かべての来場となりました。都議会議員、区議会議員、そして都教育庁、都公立学校協会、三商歴代校長、教職員又各界からも多くの来賓の皆様が御出席くださいました。

午前中には大ホールも満席の状況の中で記念式典が静粛に挙行されました。式典に続いての記念行事は都立三商の90年の歴史を現在に至るまでをスライドにて上映しました。

又、ブラスバンド部演奏、ダンス部演技と在校生とOBによる熱演が行なわれ会場からは割れんばかりの拍手が続きました。

午後は記念祝賀会となり、会場は立錐の余地も無いくらい盛況で熱気と歓声の渦巻くなかでの進行となりました。鏡開きが行なわれて乾杯、そして懇

親、懇談と続き創立90周年を祝う獅子舞が披露されて同窓会OBによるジャズバンド演奏が熱唱の内に会場を一つにして盛り上がりを見せられました。会場全員で生バンド演奏に合わせて校歌、応援歌を合唱して盛大に閉会となりました。

この良き伝統と誇りと歴史をもって、全員で次の創立100周年に向けて栄光の船出をしまいたいと思います。

同窓会活動報告

定時評議員会報告



第28期

副会長
小林慎典

平成三十年五月二十六日(土)午後四時より、母校都立三商大会議室に於いて、平成二十九年度の定時評議員会が開催された。

定刻になり小林慎典副会長(28期)の司会で土方敏之副会長(29期)の開会の挨拶のあと三浦康二会長(31期)より挨拶があり、議長選出に進み会則十七条規定に従い、議場に諮ったところ、今泉清評議員(31期)の指名があり、議長席に着き議案審議に入った。

第一号議案

平成29年度事業報告承認の件

杉本光男事務局長(26期)より同窓会の活動記録に より、入学式の出席から主要項目につき日付順に卒業式までの活動報告があり、昨年の評議員会でお出された事業計画案に掲げた事業は理事会五回に含め、

すべて履行した旨の説明があり、原案通り承認された。

第二号議案

平成29年度会計報告及び監査報告承認の件
渡邊秀明理事(会計担当・48期)より、各項目の予算額と執行額について詳細に説明した。

続いて三川廣志監事(34期)より監査報告があり、原案通り承認された。

第三号議案

平成30年度事業計画承認の件

杉本事務局長より、平成30年度事業計画について説明があり今年度は東京校歌祭(11月3日)の後、総会(同窓生の集い)を行うこととし、前年度同様若い世代に同期会を開催してもらうよう働きかけ支援し、ホームページの活発な活用を重点に行う旨説明があり、原案通り承認された。

第四号議案

平成30年度予算案承認の件
渡邊会計担当理事より、平成30年度予算案の各項目毎の説明があり、原案通り承認された。

第五号議案

任期満了につき役員改選の件
全役員が今評議会で任期満了となるので、新任初山優(55期)木藤則行(60期)を含め理事15名、監事2名の選任について議場に諮ったところ、承認された。

尚、尾坂富美子氏(24期)は理事を退任し、挨拶があった。

続いて、来賓の挨拶を中山博之校長より頂戴し、併せて加藤哲次副校長、河原田一郎教諭、古里経営企画室室長の紹介があり、篠崎清副会長(22期)の閉会の挨拶で評議員会は終了した。

第1号議案

活 動 記 録 (29年度)

No. 1

日付	曜日	摘 要	備考
29/4	7 金	入学式	
4	8 土	東京校歌振興会 総会	小山台会館大会議室
4	11 火	27年度会計監査	三商会館 4階会議室
4	20 水	理事会	三商会館 4階会議室
		第1号議案 評議委員会にむけて	
		第2号議案 東京校歌祭について	
		第3号議案 三商創立90周年について	
		第4号議案 ホームページについて	
		第5号議案 東京三商会現況報告	
		第6号議案 その他	
5	27 土	平成28年度評議員会	三商 大会議室
		第1号議案 平成28年度事業報告承認の件	
		第2号議案 平成28年度会計報告及び監査報告承認の件	
		第3号議案 平成29年度事業計画案承認の件	
		第4号議案 平成29年度予算案承認の件	
		その他持寄り議題	
6	16 金	三商会計人会 総会	三商会館 4階会議室
8	12 土	東京校歌祭実行委員会	小山台会館
8	21 月	三商同窓会報 56号 発送	
8	29 火	理事会	三商会館 4階会議室
		第1号議案 東京校歌祭について	
		第2号議案 三商創立90周年について	
		第3号議案 三商同窓会報について	
		第4号議案 ホームページの現況報告	
		第5号議案 東京三商会現況報告	
		第6号議案 その他	
9	6 水	同窓会役員有志暑気払い	両国 桔梗家
10	1 日	第25回 東京校歌祭 約50名参加	サンパール荒川
10	14 土	三商90周年実行委員会	三商 校長室
10	22 日	東京校歌祭 反省会	小山台会館

活 動 記 録 (29年度)

No. 2

日付	曜日	摘	要	備考
10	28	土	理事会	三商会館 4階会議室
			第1号議案 「三商同窓会報」56号 発行最終報告	
			第2号議案 東京校歌祭最終打合せ	
			第3号議案 新年会について	
			第4号議案 ホームページについて	
			第5号議案 東京三商会現況報告	
			第6号議案 その他	
11	10	金	三商90周年準備最終打合せ	三商 校長室
11	11	土	三商90周年記念式典・祝賀会	ティアラこうとう
12	2	土	理事会	三商会館 4階会議室
			第1号議案 三商同窓会報 56号報告	
			第2号議案 第25回校歌祭報告	
			第3号議案 三商創立90周年記念事業報告	
			第4号議案 新年会について	
			第5号議案 ホームページの現況報告	
			第6号議案 東京三商会現況報告	
			第7号議案 その他	
			終了後有志で忘年会を行う	
30/2	3	土	新年会 46名参加	両国ビューホテル
2	28	水	理事会	三商会館 4階会議室
			第1号議案 三商創立90周年記念事業最終報告	
			第2号議案 新年会報告	
			第3号議案 評議員会にむけて	
			第4号議案 ホームページについて	
			第5号議案 東京三商会現況報告	
			第6号議案 その他	
3	10	土	卒業式	

第2号議案

平成29年度 会 計 報 告

自 平成29年 4月 1日
至 平成30年 3月31日現在 (単位 円)

項 目	予 算 額 (A)	執 行 額 (B)	差 額 (B-A)/(A-B)	備 考
前年度繰越	9,521,880	9,521,880	0	
(収入の部)				
会費(85期)	2,000,000	1,939,136	-60,864	卒業生 194名
運営協賛金	20,000	169,370	149,370	
事業収入	550,000	513,940	-36,060	
利息他	1,500	110	-1,390	
収入合計	2,571,500	2,622,556	-51,056	
[支出の部]				
理事・評議員会	150,000	197,963	-47,963	
総会(同窓生の集い)	0	0	0	
新年会	150,000	253,000	-103,000	
校歌祭	150,000	208,996	-58,996	参加者が多かった
同窓会報	400,000	415,214	-15,214	
ホームページ	100,000	97,200	2,800	
活性化活動費	50,000	0	50,000	
母校部活支援	200,000	189,239	10,761	
就職活動支援	100,000	99,862	138	
母校支援	200,000	334,915	-134,915	垂れ幕の作成他
会合費	30,000	3,000	27,000	
慶弔費	50,000	25,000	25,000	
通信費	300,000	271,659	28,341	
事務・消耗品費	50,000	71,712	-21,712	
雑費	30,000	108	29,892	
東京三商会	600,000	600,000	0	
特別会計予算	200,000	0	200,000	
支出合計	2,760,000	2,767,868	-7,868	
次年度繰越	9,333,380	9,376,568	43,188	
(事業収入内訳)				
1 新年会会費	150,000	153,000	会費¥3,000- 41名 祝儀¥30,000- 3名	
2 「三商同窓会報」広告収入	280,000	281,000		
3 校歌祭反省会会費	90,000	75,000	会費¥3,000- 25名	
4 その他雑務収入	30,000	4,940		
合 計	550,000	513,940		

特別会計(周年記念事業)

上記のとおりご報告申し上げます。
平成30年4月20日

前年度繰越	2,198,811
創立90周年事業戻り	405,127
一般会計(85期)	0
受取利息	22
収入合計	405,149
創立90周年事業	2,000,000
支出合計	2,000,000
差引次年度繰越	603,960

会 計 渡 邊 秀 明
会 計 小 林 慎 典

監査の結果正確である事を認めます。
平成30年4月20日

監 事 古 田 勝 一
監 事 三 川 廣 志

平成30年度 事業計画

- 今年度も前年度同様、若い世代に同期会を行ってもらおうよう働きかけをし、支援する。
- 例年通り母校支援に努める。
- 今年は隔年行う総会(同窓生の集い)がありますが、東京校歌祭と同じ日に行う。

1 定時評議員会

平成30年5月26日(土) (本日開催)

2 「三商同窓会報」57号の発刊

投稿締切 平成30年5月末日(厳守) 発行 平成30年7月1日予定
今回も広告をたくさん募集する
三商創立90周年記念号とする

3 第26回東京校歌祭への参加

日時 平成30年11月3日(土祭)
会場 杉並公会堂大ホール

4 総会(同窓生の集い) 場所 未定

日時 平成30年11月3日(土祭) 校歌祭終了後
場所 杉並公会堂近く

5 新年会

日時 平成31年2月9日(土)
場所 両国「ビューホテル」

6 活性化活動

同期会開催のコーディネートに重点を置く

7 支援活動

母校支援(部活動支援、就職活動支援、その他)

8 「公益財団法人 東京三商会」については逐次報告を受ける

第4号議案

平成30年度

収 支 予 算

自 平成30年 4月 1日
至 平成31年 3月31日 (単位 円)

項 目	29年度予算額	29年度執行額	項 目	30年度予算額	備 考
前年度繰越	9,521,880	9,521,880	前年度繰越	9,376,568	
(収入の部)			(収入の部)		
会費(85期)	2,000,000	1,939,136	会費(86期)	2,000,000	
運営協賛金	20,000	169,370	運営協賛金	20,000	
事業収入	550,000	513,940	事業収入	630,000	
利息他	1,500	110	利息他	100	
収入合計	2,571,500	2,622,556	収入合計	2,650,100	
(支出の部)			(支出の部)		
理事・評議員会	150,000	197,963	理事・評議員会	150,000	
総会(同窓生の集い)	0	0	総会(同窓生の集い)	300,000	@5,000- 60名
新年会	150,000	253,000	新年会	275,000	@5,500- 50名
校歌祭	150,000	208,996	校歌祭	150,000	*
同窓会報	400,000	415,214	同窓会報	450,000	3700部印刷製本代
ホームページ	100,000	97,200	ホームページ	80,000	
活性化活動費	50,000	0	活性化活動費	50,000	
母校部活支援	200,000	189,239	母校部活支援	200,000	
就職活動支援	100,000	99,862	就職活動支援	100,000	
母校支援	200,000	334,915	母校支援	200,000	
会合費	30,000	3,000	会合費	10,000	
慶弔費	50,000	25,000	慶弔費	50,000	
通信費	300,000	271,659	通信費	300,000	
事務・消耗品費	50,000	71,712	事務・消耗品費	80,000	
雑費	30,000	108	雑費	10,000	
東京三商会	600,000	600,000	東京三商会	600,000	
特別会計予算	200,000	0	特別会計予算	200,000	
支出合計	2,760,000	2,767,868	支出合計	3,205,000	
次年度繰越	9,333,380	9,376,568	次年度繰越	8,821,668	

(校歌祭予算)

参加費・広告費	60,000
交通費60名@1,000-	60,000
その他	20,000
計	150,000

(事業収入明細)

① 新年会会費 ¥3,000- 50名	150,000
② 三商同窓会報広告収入	280,000
③ 同窓生の集い会費 ¥3,000- 60名	180,000
④ その他雑務収入	20,000
合 計	630,000

平成29年度特別会計(周年記念事業)	平成30年度特別会計(周年記念事業) (案)
前年度繰越	前年度繰越
2,198,811	603,960
創立90周年事業戻り	一般会計(86期会費)
405,127	200,000
一般会計(85期会費)	受取利息
0	50
受取利息	収入合計
22	200,050
収入合計	支出合計
405,149	0
創立90周年事業	差引次年度繰越
2,000,000	804,010
支出合計	
2,000,000	
差引次年度繰越	
603,960	

役員・評議員名簿

役員

評議員

Table with 4 columns: Name, Address, Position, and Birth Date. Includes names like 小影鵠, 越萩高木, 細浅大菅, etc.

Table with 4 columns: Name, Address, Position, and Birth Date. Includes names like 阿高山宇鈴藤, 加長大木, 早木森, etc.

Table with 4 columns: Name, Address, Position, and Birth Date. Includes names like 小田田石梶宮, 磯上真土, 桂木深梶, etc.

Table with 4 columns: Name, Address, Position, and Birth Date. Includes names like 中平矢岡渡, 久橋石福, 白濱中崎, etc.

Table with 4 columns: Name, Address, Position, and Birth Date. Includes names like 増平西木初, 佐森小矢, 橋高関, etc.

同窓会行事の案内

校歌祭

今年で26回目を迎える東京校歌祭。我が三商は平成9年の第5回から毎年参加しています。今年は終了後開かれる反省会（打ち上げ）を同窓生の集いとして行います。（左記参照）ぜひ両方揃ってご参加ください。（片方のみのご参加も大歓迎です。）

記

日 時 平成30年11月3日（土祭）

午後12時30分開演

場 所 杉並公会堂大ホール

杉並区上荻1・23・15

荻窪駅北口から徒歩7分

集合時間 12時00分（12時15分〜40分まで練習します）

当校は4番目13時出演の予定です

（履・時間は変更になる場合があるのでご確認ください）

集合場所 三商の小旗を掲げておきますので、それを目当てに来てください。

※参加者には些少ですが交通費を支給します。

※参加者の服装は、男性はダークスーツ、女性はそれに準ずる服装でお越しくください。

同窓生の集い

記

日 時 平成30年11月3日（土祭）

午後3時30分

場 所 居酒屋「わん」杉並区上荻1・13・10

ハクサンビル地下1階

会 費 三千元

第一部 神田紅佳さんによる三商野球部を取り入れた講演会

第二部 懇親会

※校歌祭・同級生の集いとも、会報同封の申込用紙にてお申し込みください。

新年会

毎年恒例の新年会。来年も両国で開かれます。

平成最後の新年会にお出かけになりませんか。

記

日 時 平成31年2月9日（土）

午後4時より

場 所 両国ビューホテル

（旧 ザ・ホテルベルグラnde）

墨田区両国2・19・1

TEL 03・3631・8111（代）

会 費 三千元

※時期が近くなりましたら、詳細などホームページ等で改めてご案内いたします。

お問い合わせ、お申し込みは三商同窓会事務局でも受け付けております。

東京三商會について

公益財団法人東京三商會

理事長 杉本光男（26期）

昭和39年に財団法人東京三商會が発足しました。この財団が出来た経緯については、「三商同窓会報」47号 創立80周年記念号に古田勝一（26期）氏により大変詳しく掲載され私自身も認識を新たにした次第ですので省略します。

平成20年ごろに公益法人の制度改革が始まり、当財

団もいろいろ検討し賛否両論ありましたが、ステイタスの高い公益法人移行に踏み切りました。移行申請には石川 昭（25期）氏が大変ご苦労され、平成23年4月1日に認定され登記も済みました。あとで分かったことですが、移行期間が終わって公益法人へ移行されたのは約六割弱に過ぎず、残りは一般人への格下げを申請したか、みなし解散の道を選んだとの事です。

公益財団法人東京三商會としてスタートしましたが、紆余曲折がありなかなか順調な滑り出しとは行きませんでした。22期荻野弘康氏及び28期小森輝於氏両先輩に事情を説明し応援をお願いしたところ快く引き受けて頂き、理事、監事になっていただきましたが、それからは役員の気持ちに余裕が出てきましたが、まだまだガバナンス面の強化が必要かと思われれます。

当財団の事業としては奨学金の支給が主なものです。この奨学金は財団設立当時から長年にわたって、給付型で返済義務のない奨学金でした。いまの経済情勢ではこの奨学金を支給する財源確保が大変難しくなっています。財団の財産が預金、投資等の金融財産に偏るのは危険で、不動産としての財産確保も重要なこともあって、平成26年に会館を建てました。これが今では幸いし家賃収入が大きな財源になっていきます。

制度改革の大きな狙いは、ガバナンスの改善と一つ、寄付文化の育成にあります。当財団ではまだまだ寄付に対する認識が少ないと思われれますので、三商にかかわる関係者だけでなく、広く一般からの寄付が大事だと思います。これからの課題として取り組まなければならないと思っております。

同期会等開催報告

第40回ミニミニ会開催報告

第24期 横田豊一

雨の予定が曇り空に、そしてさわやかな天気になり、気持ちのよい5月19日(土)を迎えました。

都立三商ミニミニ会、開始してから丁度40回目、この素晴らしい年に年に上野東天紅では19名の方々が、時間前に全員集まり、いつもより少し早めの11時45分から、懇親会を開催しました。

先ず、幹事二人からご参加して頂いた皆様にお礼を兼ねて挨拶をさせて頂きました。特に尾坂さんは同窓会副会長の立場から母校三商の10年後(百周年)と同窓会の経過についてお話がありました。皆さんの発案で、本年4月以降に傘寿を迎えられた方々の内、田中淑子さんが代表となり音頭をとって頂き、全員で声高らかに杯を挙げ乾杯しました、そして次々と出される御馳走と数々のお酒類に、楽しいひと時がいよいよ始まりました。

宴たけなわで、すでに胸襟を開かれた皆さんから、それぞれの近況を語ってもらいましたが、特に後期高齢者を迎



えてから、足腰が弱くなっている現実から健康維持の為にいろいろな健康法をやっているとお話、非常に参考になりました。目的を持って日々を過ごされる事は大事ですね。

我々のやがて行く道は、段々と迫って来てはいますが、丁度幼児期に戦争を経験し、戦後焼け野原で零から出発してきた私達だからこそ、今生きている有難さに感謝して、毎日を大切に過ごして行きたいですね。お体を痛めてミニミニ会出たくとも参加出来ない方々を思うと心が痛みます。

世の中の急速な変化に巻き込まれない様に、しっかりと足を地につけて日々を過ごしましょう。

一次会、二次会を通じて皆様には久しぶりに懇談が出来たと思いますが、最後にまた来年もミニミニ会をやろうよ!との声を聞き、浅賀氏、相馬さん、吉田立子さん、それに横田の4人が来年の世話役を務めることになりました。会場は上野東天紅、そして日程は平成31年5月18日(土)です。

40回ミニミニ会

第24期 尾坂富美子

九段会館で行われた三商50周年に集った有志でクラス会を立ち上げた会も今年で40回となりました。三商も90周年を迎え、11月1日に24期も祝賀行事に(当日具合悪くなった3名を除き)26名の多くの出席を頂きました。三商もこれから創立100年を目ざして歩む事になります。私共もどこまで一緒にクラス会を続ける事が出来るか判りませんが、人生100年といわれる時代、10年後を目ざして行く事になります。常に事務局として活躍して下さる横田さんと交代で幹事を引き受けてくれるクラス仲間のお蔭で来年五

月十八日に次回も決まりました。元気で再会したいと思えます。

私事になりますが15年余りとなります同窓会役員を新しい方とバトンタッチして参りたいと思退任いたしました。これまでの御支援、御協力をありがとうございました。改めて御礼申し上げます。



三十期同期会(三八会)

第30期 藤倉久男

平成29年10月18日(水)、銀座にある「RESTAURANT for ETERNITY」にて同期会を開催した。出席者五十六人(男性三十七人、女性十九人)

実は三八会は、クラス会は結構行われているが、同期会としては、多分やっていなかった。昨年（平成28年）の春、ふとしたことから、五十嵐重範さんと会って、「やろうよ」となり、各クラスの幹事、各クラブの幹事などから名簿などを入手し、卒業生名簿を埋めていき、平成28年10月20日に一回目を開催した。そのため今回は二回目ということで、すくになごやかな雰囲気となり、幹事の落合清秀さんの挨拶と乾杯で宴は始まった。

横断幕は、都立三商同期会（三八会）と書かれ、今回も笠原勲さんが「私がつくるから任せて」と当日持参してくれた。

ニキビも出ていた、けんかもした。勉強なまけて遊んでばかり、けれども夢があったじゃないか。昭和三八年に、友、皆、志を立て、学舎を後にしてから五四年、今再び、老いの入口で再会できるとは。テンプルのあちらこちらで、飲んだり、食べたり、おしゃべりと笑顔に包まれた二時間余であった。

当日の集合写真とスナップ写真は、幹事の伊佐山堯さんが撮ってくれた。

会場には、卒業アルバムと欠席者の葉書きのファイルが置かれ、誰でも見られるように工夫した。宴も終わりに近づいたところで、三商校歌、三商応援歌、高校三年生を全員で合唱。指揮はプラスバンド部出身の鈴木正次さん。

二時間余は、あつという間、楽しい時間は早いもの。幹事が用意した、周辺の飲食店などを参考に、主にクラス毎に二次会が行われた。

尚、三回目の三八会を平成30年10月17日（水）12時から15時を目途に、同じ場所ですべて予定している。今から手帳にご記入ください。

三八会は卒業生約450人、その内連絡可能な人は約200

人。この会報を読まれた方で、三十八年卒業の誰々を知っているよ、とご存知の方は、幹事の五十嵐重範 電話090-4702-7555 藤倉久男 電話090-5818-3686へご連絡ください。

**二十三期同期会
楽しく八十歳を祝う会開催報告**

第23期 小暮 清

平成三十年三月二十三日（金曜日）上野東天紅において「山田泰義先生・卒寿（九十歳）」「生徒・傘寿（八十歳）」のダブル祝賀の会として午後十二時から開催致しました。

出席者は、ご臨席賜りました山田先生と生徒六十八名で、盛大で、和やかな会を開催する事ができました。

総合同会の小暮の挨拶に始まり、二十三期関係物故者の方々に黙祷を捧げたのち、四組・栗山尚樹君の開会挨拶、山田先生卒寿のお祝いの花束を二組・三橋郁子さんより贈呈、先生のご挨拶を頂き、五組・飯沼良允君の発声で乾杯、懇親会に入りました。

戦後の食糧難時代に、遅しく生きてきた八十歳はまだまだ「老



幹事会一同

い〜てはいるが老人ではない」をモットーに舞台上上がり高校三年生を合唱した後、六組田中公太郎君の司会で、カラオケタイムに突入、開会前にエントリリーした多くの人が熱唱し全員を楽しませてくれました。

また、恒例となった「ビンゴ大会」は、七組田島行一君・沼尾陸郎君の進行でハラハラドキドキと別の楽しみを皆に配達してました。



ビンゴを楽しむ

一段落後の歓談時に七組須田誠君が地元「松戸市・史談会」の会報に「昭和二十年三月十日の東京大空襲」の体験の文を発表、すさまじい迄の地獄絵は、私の空襲体験をはるかに超え皆さんに聞いてほしく特別指名で話をしてもらいました。

反響は大きく会報のコピーの要求が多くありました。花の小学校一年生、七歳時の強烈な思い出同期が共有している事の証となりました。（文は本会報に掲載）

終盤となり、三商創立九十周年記念式典・祝賀会の開催の様子を報告、続いて校歌合唱、一組・服部弘暎君の中締めで、めでたくお開きとなりました。二年後に「元気に」「二度目の東京オリンピックを楽しむ会」を開催する予定です。

母校三商創立90周年記念祝賀会
26期出席者は46名!!

第26期 古田勝一

「生涯青春で有り続けたい」との願いから毎年開催して参りました26期同期会も通算29回目を数えるに至りました。

昨年6月の同期会で母校三商創立90周年記念祝賀会に出席を募りました処、66名の予定



者を内定することが出来ました。その後、都合が悪くなられた方、体調を崩された方、中には本人は出席するつもりで招待状に返事をしていながら心ならずも9月に亡くなられた方も居られて、最終的には46名となりました。

当初予定より20名減となりましたが、全員「喜寿」を迎えております事を折り込みますと総勢322名の祝賀会の1〜7が26期の46名の仲間でありました事は誇るべき有難い事だったと思っております。

さて今回の同期会は9組が当番でしたので、代表幹事には、諸橋勝男さん・市川守正さん・安田節也さん・渡辺亮さん・宮森啓之さん・高山卓也さん・早野泰三さん・池井昱夫さん・大畑忠宏さんはじめ進学クラス9組の方々によって進めていただきました。

平成30年6月16日(土)「両国ビューホテル」卒業生472名(物故者81名・住所不明者105名・住所判明者286名)中、今回出席者78名

司会は市川守正さん、当番幹事挨拶は渡辺亮さん。通常の同期会では次に乾杯に移るのですが、今回はここで日本の歴史家・著作者としてその著書100冊以上に及ぶ活躍をされている9組の楠戸義昭さんに講演をしていただきました。

講演は、戦国大名とその妻たちを中心題材として話され、詰まる所「人間の若さ」というものは、その人の年齢ではなく、幾つになっても希望を失わず、前向きに生きているか否かにかかわってくるのではないのでしょうか。との結びでありました。講演の後、乾杯は池井昱夫さん。

会場では東北支援の一助として恒例の深瀬剛男さんによる「三陸名産 焼まつも」(高級海藻)の販売をし、販売益は「被災地支援義捐金」と致しました。宴たけなわの中、「クラス別記念写真」。

撮影は杉本光男さん、続いて「校歌・応援歌」斉唱。これより先、80歳の傘寿の会へ向け、明るく。楽しく。そして元気に過ごして行けるようお願いしつつ。来年も必ず、会いましょう!

大畑忠宏さんの閉会の挨拶と共に誓い合つての散会となりました。



第10回富士銀行三商OB会開催報告

第29期 本村博信

立春を過ぎてからも連日厳しい寒さが続くなか「第10回富士銀行三商OB会」が平成30年2月17日(土)JR巣鴨駅近隣の巣鴨スポーツセンター本館2階にある「レストラン パルテール」で開催されました。

このOB会は、三商を第20期〜第30期に卒業して旧富士銀行に入行した人達の親睦を目的に、平成19年11月に第1回目が見事スタート、今年は節目となる記念すべき第10回目の開催でした。

第1回目は最高齢の方でも73歳でしたが、今回は最年少者が後期高齢者の仲間入りとなり、今回の開催案内時には20名の参加予定が6名の方から体調不良や都合などで欠席連絡があり、14名の参加となりました。

OB会発起人のお一人で昭和30年卒(第2期)瀬尾佳孝さんの音頭で乾杯、暫らく杯を酌み交わしながら懇談ののち、一人ひとりから近況報告がありました。

参加最年長の82歳の方から「昨年自家用車の車検満了を機に熟慮の結果、新車を購入した」との報告があり一同感嘆の一方、「自分は2〜3年前に免許返納したが特段不便は感じていない、近年の高齢者による事故などを考えれば免許返納を検討すべきでは」や「自分は何の資格も保有していないので、せめて運転免許だけでもと思いペーパードライバーながら免許証を更新している」など、運転免許に関する色々な声がありました。

近況報告の途中で集合写真を撮り、OB会初めての

ゲームとして「切り貼り・川柳」が行われました。参加者を「上の句・5文字」「中の句・7文字」「下の句・5文字」3つのグループに分け、各人がそれぞれのグループ別に「上・中・下」を勝手に想像して記入した句を集め、ランダムに上・中・下の順に並べて「川柳」を完成させ全員の投票で優秀作品を選出、優秀作・次点作それぞれの「上・中・下」の詠み人6名に賞品が手渡されました。



その後も引き続き近況報告が行われ、趣味によって地元の仲間が増えたことや健康維持の秘訣などのご披露があった途中で、平昌五輪・フィギュアスケート男子で、金・銀メダル同時獲得の一報が流れ、OB会は更に盛り上がり、お互い健康であれば、まだまだこのOB会を続けることは可能との認識で一致。

予定の時刻となったところで、発起人のお一人である31年卒（第23期）芳川弘さんに締めをいただき、来年2月に予定される第11回例会にての再会を約し散会しました。

こころの中の放送部 もつすぐ古稀

第30期 近藤若三郎

今回も、三商の校歌と応援歌が品川プリンスホテルの中華飯店に響き渡り、最後は皆の元気な三本締めでお開きとなった。

「都立三商放送部卒業生の会」は回を重ね平成29年で13回目を迎えた。以前は2年に1度だったが最近では毎年開催されることになり、三商校歌と応援歌を歌う唯一の会として、そして心を60数年前の若き日に戻し仲間と語り合う貴重な会として私の中に定着した感がある。

放送部での3年間は音楽や文藝、報道番組を制作したり、ラジオドラマを制作して過ごした。部室にはスタジオ、ミキサー室があった。部員は、アナウンサー、ドラマの役者、放送機械担当、演出担当などに分かれて番組制作に取り組んだ。放送コンテストや放送劇コンクールに挑戦し、優勝したこともあった。これらコンクールにまつわる思い出話は尽きず懸命に取り組んだ日々はそれぞれの宝物となっている。部員の中にはNHKやTBSのアナウンサーになった人もおりレベルは高かったと自負している。三商祭にも思い出が多い。前夜から仲間と協力して仮設のスタジオを教室につくりミニ放送局を開設して番組の生放送をやったことも大変だったが楽しい思い出になっている。

三商に行くというよりも放送部に行くという感じの高校生活だった。教室で過ごした時間よりも部室で番組を作ったり仲間と語り合っていた時間のほうが長かった。放送部卒業生の会が20年近く続いている理由もそこにあるのかもしれない。楽しい思い出

がたくさんあったということだ。現在、27期の酒巻敏雄さん（幹事長）、25期の佐藤紀子さん、27期の小宮美佐夫さん、金井通子さん、長谷川房子さん、29期の高島洋子さんから放送部をこよなく愛する人たちが幹事を引き受け運営にあたっている。高校生活を楽しくさせてくれた放送部だが、数年前に三商を訪問する機会があり校内を案内してくれた先生に「放送部の部室はどこですか」と聞いたら放送部はなくなりましと言われたときはショックだった。昭和20〜30年代はラジオが主流、「君の名は」や「笛吹童子」に代表されるようにラジオドラマの時代だった。IT化、デジタル化時代となり、嗜好が変



わった今、放送部がなくなってしまったことも止むを得ないというべきかもしれない。しかし、放送部は私たち部員の心の中にしっかりと姿をとどめ、楽しかった思い出とともに消えることはない。私が卒業した昭和38年、舟木一夫さんの「高校三年生」がヒットした。あーあーあ 高校三年生ばかり離れ離れになろうともクラブ仲間はいつまでも。放送部が創設されたのは昭和20年代の中ごろ、間もなく古稀を迎える。そのためにも元気で会合を続けたい。放送部員のところをつなぐ絆、三商校歌と応援歌と一緒に歌いたい。

22期生の皆様へ

第22期 篠崎 清

我々の同期会も傘寿の会を最後に一区切りという事で解散した形にはなりましたが同期のみんなと年に数回は顔合わせしたいという意見が出て検討した結果30会と名称変更して会長も新たに瀬尾佳孝氏にお願いしスタートして今回が初めての会合ですので多くの方に声掛けして戴きご参加くださいますようお願い致しております。尚、後日事務局よりご案内を差し上げます。

— 記 —

日時 平成30年10月10日(水)
 時間 17時集合
 会費 五千円
 会場 船橋グランドホテル
 JR船橋駅北口下車3分
 電話047-425-1121

都立三商31期同期会のお知らせ

暑さ厳しい候、皆様におかれましては、元氣で過ごしの事と存じます。
 私達七十二歳を過ぎましたがまだまだ元氣、そんな懐かしい同級生とお会い出来る機会を計画しました。多数の方、ご参加して頂けると幸いです。皆様とお会いできるのを楽しみにしています。

— 記 —

一、日時 平成30年9月30日(日) 受付十二時
 一、場所 上野池之端「東天紅」
 電話 03-3828-5111
 開宴十二時半〜十五時

一、会費 九千円

(当日キャンセルは後日集金いたします)

☆二次会 リバティハウス(貸切) 会費三千五百円

*不明点は事務局に連絡ください。

三商31期同期会事務局

星野 忍、真下 章、古関欽司

連絡先 辻村ソノエ 090-2550-4616

以上

三菱電機(株)OB会「東雲会」の歩み

第29期 仲田元昭

1、創成期——発足の経緯、会員数——

「東雲会」は三菱電機(株)に入社した三商卒業生の親睦の会として三商近くの地名から「東雲会」の名称で、昭和20年代中頃に発足しました。その後三菱電機企業グループ勤務者も会員とし、広く親睦を拡大し活動してまいりました。発足以来今年で70年近くになる、歴史ある三菱電機企業グループの三商



東雲会 26年5月27日(火)

同窓会です。

当初の会員は、5期(昭和13年)故相沢さん、6期(昭和14年)故木根さんから19期(昭和27年)伊沢さんまでの10名で発足したようです。ピーク時の会員数は36名で、現在の会員は16期(昭和24年)の志村さんから53期(昭和61年)の現役高野さんまで28名です。

ここまで長く続いている三商同窓生の企業OB会は無いのではないのでしょうか。

2、最盛期——活発な親睦活動、企業人としての活躍期——

親睦以外に、先輩からの入社前の心得、入社後の留意点、会社生活等先輩からの貴重なアドバイスにより、企業人としてスムーズに勤務に付けたことは



東雲会 平成29年5月25日(木)

我々後輩にとっては、大変心強いものでした。

新入社員が毎年入社する最盛期(昭和40年代)には1泊旅行やボーリング大会をするなど活発な親睦活動をしておりました。管理職や転勤者が多くなった高度成長期からバブル崩壊期は、何かと激務に追われたこともあり17年間(昭和58年〜平成10年)ブランクがありました。

しかし、同時にこの時期は会員のほとんどが38歳〜48歳で働き盛り、それからの17年間(55歳〜65歳)は会社生活の中で多くの方々を知り合い、又お世話になり企業人として一番活躍し充実した良き時代だったと思っております。

途中退職の方や現職中に他界された会員もおられますが、大半の会員が会社OBとなった平成11年よ

り毎年の開催となり、平成29年開催で40回程になりました。(平成23年は東日本大震災の大災害に考慮し中止)

「東雲会」では三商時代の懐かしい昔話や会社の問題点、他部門の情報等会社生活を円滑に推進するための、貴重な情報交換の場・ガス抜きの場でもあり「東雲会」の果たした役割は大変に大きく、先輩各位に感謝する次第です。

三商の絆が「東雲会」を通じて更に深まり、先輩の教えが後輩達の心強い励みとなり、激動の日本経済でありましたが、お陰様で全員立派に勤め上げることが出来ました。まだ現役が1名頑張っております。

まさに三商の校歌にある「日本の富を担うわれら」「都の栄を築くわれら」「江戸の誇りを継げるわれら」を、会員一同実践し会社の発展に少しでも貢献したとの思いでおります、会社も数年前に電機業界トップグループの内2社を抜き業界で初めて株価総額2位になりました。

3、成熟期——充実したシニアライフ——

現役1名を除き全員企業OBとなった10数年前よりシニアライフの情報交流の場として、また三商時代の昔話や現役時代の仕事の本音や裏話等、OBとなった今話せる交流の場として新たな役割を加え、「東雲会」は幹事団が元気である限り継続しよう、衰える知力に活を入れ取り組んでおります。

会員各位年齢に応じて、シニアライフも多方面にわたり元気に活躍されておりますので、その一部をご紹介いたします。

- ① 絵画の趣味を継続し個展を何度も開催されている会員(27期)
- ② 仏像彫りの趣味を継続されている会員(30期)

③ 海外旅行でも皆さんが余り行かない場所にいち早く行かれる会員(24期)

④ 地域の山岳会理事として活躍している会員、今年5月に九州の山登り行事に参加(29期)

⑤ 管理組合の役員として現役時代の知識をフルに発揮している会員(27期)

⑥ 自治会の役員として地域社会の安全で住み易い街作りのため活躍している会員(31期)

⑦ 地域の街歩きボランティアガイドとして活躍している会員(29期)

⑧ 小学校の放課後教室で子供達に将棋やけん玉等を教えている会員(29期)等々です。

これからも会員一同健康に留意し、「東雲会」の70周年、80周年へと三商の絆を更に深め、旧交を温め、会の締めには恒例の校歌を歌い、健康である限り継続開催していきたいと思っております。

平成30年の「東雲会」も5月18日(金)に三菱養和会巢鴨で現役が出席しやすい様、夕方6時より開催いたします。

(ご投稿5月現在)

「平成29年東雲会」

場所…三菱養和会巢鴨スポーツセンター内レストランパルテール

開催日…平成29年5月25日(木)

珠算部OB会【三珠会】開催

第23期 小暮 清

前回は、平成二十年に開催、今回は、十年ぶりの開催となります。

今回は、十六期から三十二期の住所判明者六十五

名に発信、約半数の二十八名（男性二十三名・女性五名）の参加を得て、梅雨の晴れ間の晴天に恵まれた、六月八日に東天紅上野本店で開催しました。

初めに「三珠会」関連物故者の方々に黙祷を捧げましたのち谷内行夫新会長（22期）の挨拶、伊藤忠良前幹事長（22期）の乾杯の音頭で楽しい宴が始まり、懐かしいおしゃべりと杯を重ねた歓談が一段落したのち、新体制の報告が行われ、会長、副会長（23期大石傑一郎）、幹事四名（23期小暮清・28期河田忠男・31期西郷昭一・32期荻野敬次）の新体制で毎年五月に開催することを報告、誘い合わせてより多くの会員の参加をお願いしました。

続く歓談で、最年長者、中野貞三（19期・84歳）さんにお話を頂き、二十四年間主宰しているウォーキングクラブで、毎月二日間で約三十キロ歩き、医者いらずとのうらやましいお話がありました。23期では、三橋（旧姓加藤）郁子さんが平成二十八年秋に瑞宝単光章（旧勲六等瑞宝章）を叙勲したとの嬉しい知らせが入りました。当会では旭日双光章を叙勲している金井一夫（25期）さんに続く二人目で、花束をお贈りしてみんなでお祝いしました。また、各期の方々から思い出話や近況話で盛り上がりました。

思い出話は、全国高校珠算大会での激戦や、個人種目別暗算・読上げ算での二人で一位、二位争いをした緊迫戦、厳しい練習等懐かしい話と、近況話では年齢に関係なく現役で全国レベル・地域レベルで、珠算教育、簿記教育、各種振興、各種委員などに携わっている方が多くソロバンも大丈夫と、大変喜ばしく思いました。

上野動物園のパンダを模した東天紅の「パンダ月餅」の賞品を獲得すべく童心に帰り楽しく「ピングゴ

大会」を満喫した後、校歌を合唱、大石副会長の音頭で、来年五月元気に再開することを誓って締め切った。三時間の楽しい宴はお開きとなりました。

エッセイ・報告

都立二商創立百周年に行ってきました!!

第26期 古田勝一

二〇一八年六月二日、日本晴れの良き日に都立二商の創立百周年記念式典が挙行されました。十年前、三商の八十周年記念式典には、当時「全国商業高等学校長協会（全商）」第二十四代理事長で居られた一商の鈴木敏夫校長に主賓として御臨席を賜りました。今回の一商の百周年では、三商の中山博之校長が（全商）第二十八代理事長として主賓の席に居られました。三商からは三浦康二同窓会長・岩瀬和子前同窓会長・杉本光男事務局長・古田勝一監事・鈴木由香PTA会長が出席致しました。会費の八千円は前払い制の振込用紙が付いており、各自で振込を済ませました。

一商の場所は渋谷の高台に位置する鉢山町で、代官山と隣接する閑静な高級住宅街に在ります。その校舎の体育館メインアリーナで式典は厳粛に挙行されました。祝賀会はセルリアンタワー東急ホテルに移動し、着席でのフランス料理フルコースでした。

又、サプライズとして小池百合子・東京都知事が挨拶に立たれ、獅子舞、弦楽器によるロビーメインステージ演奏、フラダンス、と華やかで盛大な会でした。

府立の商業高校は一商・二商・芝商（旧・京橋商業）



吉澤 徹 初代三商校長

三商・四商・五商の順で設立されましたが、一商と三商の関係は他校とは比べようもない程の縁があります。一商を一九一八（大正七）年に設立しました初代校長・陶山斌二郎先生はアメリカのプリンストン大学を卒業し、帰国後は愛媛県立松山商業学校長でありました。その松山商業には後に三商初代校長となられる吉澤徹先生が居られたのです。当時の東京府は「天下（日本）第一」の商業学校を東京に創る事を至上命題とし、アメリカ仕込みの自由主義者で世界に目を開くという事を方針とされていた陶山斌二郎先生を第一商業の初代校長に招聘しました。



その際、陶山校長は松山商業に居られた吉澤徹先生（英語科）をヘッドハンティング。吉澤先生を伴い一商の初代校長に就任されました。今から百年も前に陶山先生、吉澤先生は世界各地で活躍できる人材（材）の育成を目指し

ておられたのですね。

三商は商業の学校でありながら英語教育を重視し、イギリス人の女性教師メイ・グラハム先生による原書、原語での授業でありましたのも頷けるところです。

一商とのご縁は三商の初代校長・吉澤徹先生だけではありません。第四代・石田壮吉校長、第十九代・浦部利明校長は、かつて一商の教壇に立たれていた経緯のある先生です。縁が深いですね!!



流行り言葉は世相の小窓

第21期 高野 昇

今は年末になると「流行語大賞」なるものが発表され、昨年は「付度」が選ばれました。付度なる言葉や単語日常的な言葉でもなく、首相関係者の蕎麦の「もり・かけ」の食い過ぎで大賞になりました。今後も「付度」なる言葉が会話に出てくる度に、国会や世間を揺るがせた出来事と結び付けて考えてしまおうでしょう。流行語の命です。なんとなく覚えてあるもの、「そんなのあったっけ？」になっている言葉もあり消えて忘れ去られるものがあったもそれが世相の流行語です。三商在学中の前後の日々、どんなはやり言葉があったか、思いつくままに当時の世相と合わせて書いてみますが、年代順に羅列せず思うがままに記します。思い感じることは個々夫々

で個人的なものです。

▼「懺悔」：中学二年生の時に知った言葉で担任のK先生の社会科の授業で、戦後最初の首相の東久瀨氏が開戦責任者（天皇のことか？）より敗戦責任として国民一億総懺悔をせねばと言ひ、敗戦責任は国民も含むとの意味合いが十分に込められていたとK先生は責任の転嫁の無責任さを、それとなく生徒に伝えたかったのだと後年理解しました。字画数の多い懺悔なる文字、そして言葉、単語は世相とともに胸に残っています。一億になに：って言葉や標語はいやですね。「一億一心火の玉だ!」「一億玉碎!」は学童疎開でも日々さん言わされてきました。そして今「一億総活動社会」と言った首相。この冷やかなネーミングで懺悔という言葉連想してしまうのは私だけです。でもあのK先生も流行り言葉ではなかったけれど熱意の籠ったあの「懺悔」の本意は先生と私だけの流行語です。昭和四十年頃大宅壮一が、やたらに増え始めてテレビ局とテレビ台数に「テレビは一億総白痴化の恐れあり」と皮肉りました。当たらずといえども遠からず、的を射た言葉でした。

▼「アツそう」：戦後人間天皇を宣言し、国内各地を訪問されていた頃、一般庶民との会話の中で天皇の口から発せられた言葉がラジオから流れて津々浦々に広まり、「アツそうですか」というのが普通ながら、「アツそう」は、いかにも少し前までは天上人だった人だと思わせました。子供同士の会話の中でもふざけながらの遊び言葉でした。天皇の口真似などしたら戦前だったら不敬罪となり間違いなく逮捕です。

▼「浮浪児」：戦災で家族も家も失い行き場のない少年、少女が繁華街に屯していました。戦争の傷跡

が消えぬ東京の街には家族も仕事も人の愛も失った人々が浮浪者となっていました。上野駅の地下道はそれをまともに象徴する場所だったと思います。浮浪児たちは上野のことを「ノガミ」と言っていました。「浮浪児狩り」と称して、警察や役所が定期的に子供たちを收容する為に行っていたものが浮浪児狩りで、それを逃れている事が浮浪児仲間との自慢でも有った様です。昭和六十年ごろ、四十年ぶりの小学校（当時は国民学校：学童・縁故疎開などでバラバラになっていた）の集まりがありました。夫々があの時から現在を語ることになりその中でA君の話が衝撃的でした。戦後、学童疎開先から引き揚げてきた日、列車を降りた上野駅で引率してきた先生は「それではここで解散」の一言で自らさつさと山梨の実家に帰ってしまったそうです。駅頭に残されたA君は途方にくれました。家族は空襲で全滅、家は焼失しており、その日から彼は実家の前にあった焼失した銭湯（下町では風呂屋といっていました）のボーラー釜の中で2年近くを過ごしたそうです。学校に行く術もなく、日中は上野駅の地下道に屯しカッパライ、カッアゲ、アメ横では万引きなどを繰り返して、夜は歩いて亀戸の風呂釜の自宅？に帰る。年下の子分を連れ歩き、喧嘩の繰り返しでテリトリー（つまり縄張り）を広げてはいたもののある



日、学校に通う子を見て目が覚めたそうです。そして浮浪児狩りにわざと補導され施設に収容されました。地下道生活とは掛け離れた食事、仲間同士の喧嘩も我慢して中学を卒業し、自動車整備の技術を身に付け、のちに同じ施設に居た同じ環境で育った女性と結婚し、孫4人に囲まれて居ると穏やかな口調で語っていました。その十数年あとに彼岸に旅だったのを知りました。もう一つ、上野地下道での私のショッキングなできごと。戦後直ぐの昭和二十二年頃か、アメ横へ母と妹、弟と四人でなにかのヤミ商品の買い出しに行きました。母は弟を背負い両手に妹と私の手をしっかり握り山下口のガード下に出るまであの地下道を歩きましたが浮浪者、浮浪児が通路の両側にビッシリと屯しており、なんか怖くて子供一人では歩けません。いつ浮浪児がカツアゲにくるか、因縁をつけられるかの空間でした。その地下道の一段高い処に胡坐をかいて座している少年と目線が合いました。まずいと思いながら目線をそらしましたが、相手の目線の強烈さを頬にチカチカと感じました。突然私の頭に二年前の同じクラスに居たM君だと察知しました。彼は浮浪児だったのです。親子連れで母親と手を繋ぎ、目の前を通り過ぎるかつての同級生をどんな思いで見っていたか、私は母の手を思い切り離し、足早でそこをのがれました。間違ひなくM君だった、今もその時のM君の顔と鋭く感じた目力を忘れる事が出来ません。綺麗に整備された現在のあの地下道を、今も歩くことができません。その後の彼の状況は知る術もなく時だけが通り過ぎていきます。二年生の時、彼に砂町の仙気稲荷の水溜りにザリガニ(当時はエビガニといっていました)が沢山いるよと誘われ獲りに行ったこともあったんです。

▼「アプレゲール」：価値観の違ひの戦後派の若者のことで、アプアングール(戦前派)とは対照的な言葉でフランス語です。軍隊の主計将校だった山崎なる男が「光クラブ」なる名前のヤミ金融会社を経営して大儲け、その後の取り締まりの強化で行き詰り自殺していました。おなじ頃の「日大ギャング事件」、十九歳の若者が日大全職員の給与を強奪し逮捕され「オー・ミステイク」と発し、新聞に写真まで掲載され、それが未成年者だったので社会問題となったのを記憶しています。これら若者の破天荒な行動を評してアプレゲールと言っていました。昭和三十年以降の知的？な若者は「新人類」と言われていますね。

▼「ダモイ、ノルマ」：シベリヤからの復員兵が帰国後もたらした言葉でロシア語か？ダモイは「帰国」の意で松竹映画の作品に当時同名の映画が作られ佐分利信が出ていました。ノルマはシベリヤ抑留捕虜となつて極寒の中の強制労働で「一日の労働時間内でやり遂げなくてはならない生産(凄惨でもあった)責任量」で、今でもビジネス用語として各種国認辞典にも記載されています。



▼「ベビーブーム」：戦後四、五年は海外(主に中国)からの引揚者や復員兵が帰国してきました。ニュース映像などでその光景を見るたびに引揚者や復興兵の安堵の思いが伝わってきます。半面苦労された疲弊の色も隠せません。国内、海外にいた適齢期の男女は縁あってその後結婚し子を生まみます。当然の

ことながら新生児が増え、その子らが数十年後の現在「団塊の世代」となりました。その親たちは復興日本の東京オリンピックを頂点に礎を築き、団塊諸兄はバブル景気の土台となつて働きました。お子たちは「団塊ジュニア」と呼ばれ、勢力図の変化の激しいこれからの世界を相手に進む年齢となっています。後期高齢者たるもの、年金、医療費などの恩恵をこの方々にも感謝せざるはられません。

▼「ワンマン」：説明不要です。語源はもともと昭和二十四年当時の吉田茂総理の政党内の独裁ぶりから出てきた言葉でしょう。国会開催中は自宅の大磯から永田町までの国道1号を徹底整備させ「ワンマン道路」と言われていました。ノルマと同じ、今も会社経営などの独裁体制にも使われていますね。私たちの年代はワンマンと聞けば吉田茂を連想してしまいます。歳ですね。

▼「あじゃパー」：ご存知喜劇人の伴淳三郎が喜劇映画の中で言ったものです。巻では気軽に当たり前の様に流行っていました。彼は山形出身で東北訛りのゆっくりした発音で言う「あじゃパー」は何とも言えぬイントネーション、軽く握った右手を「パー」というときに手を開く、このタイミング



と、間がなんともいえません。驚いた時、困った時など、使い勝手のいいはやり言葉でした。

▼「ジャズ」：JAZZ、いまでは当たり前の言葉で、はやり言葉、とは言えませんが戦後の直ぐのこの時期、占領軍の影響で外来音楽が国内に蔓延しました。ラジオにも占領軍向けの放送WVTRがありやたらにダンスミュージックや歌が流れていました。Gミラー、B・グッドマン、H・ジェームス、L・アームストロング、歌手ではD・デイ、B・クロスビーなど。アメリカの音楽はウエスタンだろうが黒人霊歌だろうが全てを、ジャズ、といっていました。後年遅れて入ってきたシャンソンやカンツォーネはさすが、ジャズとはいえませんでした。在学中の頃、日本人ミュージシャンが雨後の筍のようにバンドを組んで出現、日本に於けるジャズバンドの創成期となり、わが母校の先輩の海老原啓一郎氏（12期生）がアルトサクソフ奏者として、「依田輝夫とシックスレモンズ」のメンバーとして活躍、銀座のジャズ喫茶「テネシー」で拝聴した記憶があります。1年か2年生の時でした。昭和三十年頃、アルトサクソフのジャズ奏者としてアメリカの「ビルボード」誌日本版で超一流の奏者であると記載されていたことがあります。私が最初に覚えたジャズのメロディーと英語の歌詞は「You are my sunshine」でした。

▼「駅弁大学」：大宅壮一が皮肉たつぷりに大学の乱立を揶揄した言葉として聞いていました。特急が停まる駅、県庁所在地の駅では必ず駅弁を売っているが、これまた地名のついた大学が必ずある、^{たけのこ}筍大学ともいっていました。今少子化が進み、乱立した大学が閉校したり、募集数に満たず経営の困窮が表面化してきています。大宅氏の皮肉さが現実と

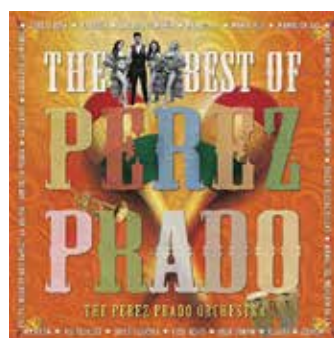
なってきたのは皮肉ではなく正論になってきました。

▼「街頭テレビ」：深川不動の参道や錦糸堀の駅前、の江東楽天地の敷地内にありました。学校帰りによく見ていました。初の民間テレビ局の「日本テレビ放送網」が都内各地に設置していました。プロレスや時折の野球中継に圧倒的な見物客が、いまの四十分程度程度の画面のテレビに食い入るように眼を注いでいた懐かしい言葉と風景です。「錦糸堀」と書きましたが国鉄の駅名だけが「錦糸町」で錦糸堀というのが普通で、都電やバスの方向版も「錦糸堀」と表示されていました。

▼「プロレス」：前記の街頭テレビの設置とともに大相撲を関脇で引退した「力道山」がアメリカ修行後に全米でのプロレスチャンピオンのシャープ兄弟を招いての試合が後楽園球場で行われプロレスブームが到来しました。力道山は戦前からの柔道の王者木村政彦とタッグを組みました。木村は戦前から、木村のあとに木村なし、木村の前に木村なし、といわれた猛者で、力道山の空手チョップとともに木村の内股、背負い投げ、巴投げなどで圧勝、日米戦争の敗戦の憂さを国民共々一気に払拭した感がありました。この国民の鬱積の思いを掃ってくれたのは他に、戦後すぐの昭和二十四年のロンドンオリンピックに参加できずその悔しさをオリンピックの水泳競技の同日に神宮プールで世界新を出した古橋広之進氏、ボクシングの白井義男氏、そしてこの力道山と木村でした。他にもボストンマラソンで優勝した田中茂樹などおりました。プロレスがスポーツか単なる興行かの賛否両論の中、子供たちはあちこちの焼け跡の残る空き地でプロレスごっこに興じていました。

▼「安保反対」：そろばん塾をやっていた関係でクラスの待ち時間に子供たちがスクラムを組んで「あんぼ、ほんたい！」「安保反対！」といいながら遊んでいたのが眼に浮かびます。通りすがりの人も笑いながら見ていました。六十年安保反対のデモがあちこちであり、犠牲者まで出て、岸内閣も総辞職に至りました。その安保条約は現在も引き継がれていますが、あの「安保反対スクラム遊び」をしていた子等も今は七十歳近い年齢になっています。当時はまだTVも普及しておらず、でも子等は世相の出来事を敏感に遊びに取り入れる本能的なものがあつたのをつくづくと感じたあの頃でした。

▼「マンボとロックンロール」：WVTR放送でラテンリズムの「ルンバ」は知っていました。X・クガートバンド演奏の軽いリズム♪マイアミビーチルンバ♪が懐かしい。彼はラテン音楽のキングと言われていました。在学中に文化放送で毎週、犬のマークのビクターレコードが提供する「S盤アワー」があり帆足まり子がMCをする番組でテーマ曲がP・プラドの♪マンボ・ジャンボ♪（後にマンボNo.8と変更）で中南米のパーカーションを全面に出す強烈なリズムは若かった私たちの心と体を揺すりました。何と言っても♪マンボNo.5♪が大ヒット、パチンコ屋の軍艦マーチがマンボに代わってきたと新聞にもでる有様。あの「ウツ!!!」は何とも言えぬタイミング。その後も数々のマンボの名曲がレコード界を圧倒しました。日本公演にも何度も来て、



日比谷公会堂で見たことがあります。キャバレーやナイトクラブではマンボダンスが大はやり、当時モダンダンスの創始者といわれた中川三郎が「キャバレー」などでマンボダンスが流行ったのはホステスが嫌な客などに抱かれながら踊らなくても済む（マンボもジルバも離れて踊り、時折手を繋ぐ）ので仲間同士の約束でバンドリーダー（バンマス）にマンボをリクエストしていた」との裏話を聞いたことがありました。マンボズボンも流行りまし極端に細いズボンでマンボを演奏するバンドマンがはいっていたのが源流らしいです。私も着していましたが父に「そんなズボン、はきやがって」と苦言を呈されました。卒業後ロックンロールがはやり始めました今は「ロック」と言っていますが語源はB・ヘリーが演奏した「Rock around the clock」の略で、このビートとエレキと演奏がこの種のリズムの原点になっています。E・プレスリーの数々のロックは世界中を制覇し、若者は競って電気ギターを買い求めました。その後のソフトテナーのP・ブーン（砂に書いたラブレター）の出現とあわせ「S盤アワー」ではビクターの3Pと宣伝していました。私のようなこの年齢になると今のロックやヘビメタなどにはついていけません、プレスリーの歌とリズムにはついていけません。指パッチンをしてしまいます。



私の東京大空襲

第23期 須田 誠

「四之橋^{しよのはし}の墨田区側橋詰め」の防空壕。その防空壕で私達家族5人は命を救われました。墨田区・江東区の一部は綺麗な碁盤状の通りで整備されて居て、墨田区押上から江東区東陽町に伸びる直線道路を四つ目通りと言います。四之橋は墨田区と江東区の境の堅川に掛かる橋ですが、今は橋の上を首都高速小松川線が通り、当時を偲ばすものは何もありません。

昭和20年3月10日の未明、下町を焼き尽くす大空襲がはじまりました。祖父は消火作業に出て居ました。私達は予め決めてあった堅川沿いの防空壕に避難をしました。当時、堅川沿いの一帯は防火目的の強制撤去で民家は全て取り払われ、そこに多くの防空壕が並んで居ました。私達が入った防空壕には近くの住人の家財等が持ち込まれ雑然として居ました。そこに消火作業から戻った祖父が、私達の入って居る防空壕では民家も近く危険なので、もっと安全な場所を探そうと嫌がる私と妹を急ぎ立てて、冒頭の「四之橋の墨田区側橋詰め」の防空壕に向かいました。

今考えるとかなり大きな防空壕で既に他の家族数組が入って居ました。初めのうちは電灯も点いて居た様に思います。暫く経った頃赤子を背負った女性が一人防空壕に入ってきて来ました。その女性は素手でトタン板を持ち赤子に火の粉が掛からない様に守りながら防空壕に辿り着いた様です。火の粉を浴び

たその両手はグローブの様に腫れあがって居ました。多分祖母が言ったのだと思いますが火傷にはアンモニアが良い、私にその女性の両手におしっこを掛けてやれと言われそうしました。その時点ではまだ電灯は点いて居たのかもしれない。

その内、電灯も消えて仕舞い真つ暗な状態の中で、誰かが「息苦しいぞ、窒息するぞ」と騒ぎだしました。そこで入口の扉を開けようとしたがびくともしません。扉の外側は避難の群衆で「おしくらまんじゅう」の状態だった様です。

皆で何とか扉を押して僅かに出来た隙間に持ち込まれて居たふとんの端を咬ませました。吹きすさぶ強風の音と、人々のざわめきは聞えて来ましたが外の様子までは分かりません。防空壕の周りの群衆は火の粉を浴びながら惨禍の一部始終を目の当たりにしたかと思えます。幸いにも私達は民家を焼き尽くした火柱も川面の筏を焼き尽くした燎原の様な猛火も目にする事無く夜明けを迎えることが出来ました。

夜明けとともに外のざわめきが消え、防空壕にも明りが差し込んで来ました。外に出て見ると周りの人家は全て焼き尽され、近くの鉄筋コンクリートビル（大谷重工業？）だけが残って居ました。堅川の川面を見ると、沢山並んだ丸太の筏は水面までの半分が燃え尽き黒く燻って居ました。そして猛火を逃れて川に飛び込んだ人の遺体が川面を埋めて居ました。

防空壕を出て自宅のあった場所（江東橋4丁目・今の墨東病院近く）に戻りましたが、自宅は勿論のこと焼け落ちて居ました。前夜、庭の防空壕に母が炊くばかりになって居た釜を入れて置きました。何とその釜でご飯が上手に炊き上がって居ました。そこ



に昨夜の赤子を連れた女性も一緒に居て、母が赤子のかぶって居た帽子にご飯を分けてやったことを覚えて居ます。グローブの様な手がその時どうなつて居たかは思い出せません。前夜、最初に入った防空壕は家財類を持ち込んだことが影響してか、無残に焼け落ちて居ました。祖父の的確な判断が私達家族の命を救いました。

何せ、当時の私は満7歳になつたばかりですので記憶もあまり確かではありません。その後、家族5人（祖父母、母、私と妹（父は既に戦死））で錦糸町駅前の江東劇場に避難しました。そこで何か食べ物を支給された様にも思いますが良く覚えて居ません。その後、理由は分かりませんが、四之橋を渡つた江東区側の毛利小学校に移りました。そこも避難して

来た人達でござつた返して居ました。多分正午になる頃と思いますが、校舎の窓から見えた太陽が非常に大きく真つ赤に見えたのを良く覚えて居ます。

そんな中、「須田さんのご家族は居ませんか？」と大きな声が聞えました。文京区に住む伯父が私達を案じて探し来てくれたのです。

それから、文京区に向かつて京葉道路沿いに両国橋を目指して歩き出しました。江東橋一丁目辺りまでの道路沿いでは服をまとつたままの遺体を沢山見ました。多分煙に巻かれて息絶えたのでしょう。不思議に怖いとは思いませんでした。

橋を渡つて緑町に入った頃から黒こげの遺体や赤くただれた遺体を数多く目にしました。赤子を背負つたままの黒こげの遺体には思わず目を背けた記憶があります。緑町から両国橋に至る辺りがより酷い被害に遭つた様です。

もうひとつ、今でも脳裏にあるのは両国橋のたもと付近に大きな穴が幾つか掘られて居て、その穴に鳶口を持った多数の人が黒こげになつた遺体を引き摺り、穴に落として居た光景でした。その人達が兵士であつたか消防士であつたかは覚えて居ませんが、まさに地獄絵そのものでした。

思い起せば、あの日あの様にして無残に葬られた焼死者の土盛りは錦糸公園にも沢山ありました。それらが綺麗に整理されたのは東京オリンピックの開催される昭和39年になってからのことです。あの日の東京大空襲では10万人を超える死者が出たと伝えられて居ますが、私達家族は良く生き延びられたものです。

遠い71年前の出来事ですが今も忘れることはありません。

三希展を終えて

第26期 水上健二

母校三商は昭和3年1月に開校し、創立九十周年を迎え、平成29年11月11日に記念式典・記念祝賀会が盛大に行われました。記念の年に当たり第26期同期会会長古田勝一氏の提案・企画により同窓生3人による三人展を開くこととなり、出品者は第26期卒業の豊田紀雄ならびに同期の水上健二、第28期卒業の北島朝子の3名で開催することに決定。展覧会名を【三希展】（この名称は三商校歌・希望は燃ゆる若きわれら…の「希」と三商の「三」と三人展の「三」を込めて）として計画しました。

左記の案内ハガキの通り、平成30年3月7日よりスタート、三商同窓会をはじめ第26期小熊会の皆様からお祝いの花々が贈られ華やかな幕開けとなりました。

三希展 豊田紀雄 北島朝子 水上健二

三希展 豊田紀雄 北島朝子 水上健二

神楽坂セッションハウス
〒160-0805 東京都新宿区片町1-5-4 ☎ 03-6264-0461

平成30年3月7日(水)～14日(水) 12:00～19:00
休日は最終日は17:00

◆ 観覧料 大人 100円 小学生以下 50円
◆ 観覧料 大人 100円 小学生以下 50円

◆ 観覧料 大人 100円 小学生以下 50円

◆ 観覧料 大人 100円 小学生以下 50円



展覧会二日目（3月8日）は、北島さんの第28期卒業の皆さんが勢揃い、同期会

した。会場となった神楽坂のセッションハウスの活躍の場であり、ジャンルを超えてアーティストがセッションする場として一九九一年に設立された総合的なアートの場、舞台芸術の一地下スタジオ」と、美術の場としてのギャラリー「ガーデン」の二つの空間で構成され小スペースの特徴を可能な限り生かせる機能を備えた所でした。初日午後5時から開かれたオープニングパーティーには、同窓会長をはじめ役員の方々、劇団関係、絵画関係、ならびに懐かしい同窓生の方々もみえられ賑やかな歓談の場となりました。久しぶりの再会は、最初戸惑ったものの暫く話していると、色々な記憶が甦り名前と顔が一致？し、話しが弾みあつという間にパーティーの時間が過ぎました。絵画関係の友人も大勢お祝いに駆けつけて、出品作品の前で描かれた場所の思い出に花が咲き、楽しいひとときでした。この後の二次会も大いに盛り上がり展覧会初日が無事終わりました。



が突然開かれた状態で皆さん昔に戻った感じでクラブ活動の話で盛り上がりたり、色々の話が飛び交い一気に若返った感じで仕事の話しや、ご家族の話題等賑わい、作品の前に色々説明を聞いたり、と楽しい時間を共有しております。今回の展覧会でお目にかかれた同窓生の皆さんの元気な笑顔に接し卒業後社会で活躍したそれぞれの人生の温もりを感じ、同窓生として誇りを感じながら、展覧会を楽しむ毎日でした。

展覧会二日目（3月8日）は、北島さんの第28期卒業の皆さんが勢揃い、同期会



第28期卒業の皆さんと出品者

り、普段から機会を見つけ合っているメンバーとの交流は今回の三希展という母校三商の創立記念展の開催ということにより盛り上がった懇親会となり、三日目が終了した。展覧会四日目（3月10日）も天候に恵まれ、第28期の町田美知子さんが娘さんとお孫さんを連れて来場、同期の出品者北島さんを交え作品を熱心にご覧になり、たまたま居合わせた同期の男性とも話しが弾んでいった。午後になると私の一期後輩の方や同期生で三年七組のクラスメイトが、来られ一気に話しが弾んだ。七組のメンバーは、毎年一泊旅行にも出かけ、クラス会も一ヶ月おきの間隔で開いており、この日もこの後、いつもの集合場所浅草の神谷バーで臨時？のクラス会を予定。まだ早い時間でもあり私は残念ながら今回は出席出来ずみんなを見送り、会場に残った。この他、嘗てのクラブ活動での同期生も見え、写真撮影をしてくれた。会期中、多くの同窓生に会い、一日、一日充実した日々で各々元気に活躍している姿に接すると



心強く思った。

心強く思った。展覧会五日目（3月11日）三希展も後半に入り、何回か会場に来てくれる同窓生もあり、また我々より10期以上上の大先輩がおいでになったり、と驚きの連続であった。このような毎日が続き六日目、七日目も過ぎ、エキサイティングな三希展もいよいよ最終日を迎える事となった。

三希展も、いよいよ最終日（3月14日）となり、この日も大勢のご来場者がお出でになり終日賑わい午後4時からお楽しみ企画の第11代金原亭馬生師匠の一席が始まった。金原亭馬生師匠は、三商の第33期卒業の同窓生、現在落語協会理事として活躍、国立演芸場花形演芸大賞をはじめとして数々の賞に輝き落語会の第一線で活躍されている。多忙な時間の中、今回の記念展に快く出演を快諾され実現した。なお今回の出品者豊田氏とは日頃から昵懇の仲で、三商同窓生の強い絆を感じた。



あつという間の八日間の三希展でしたが、この展覧会を会期中の全日程、ずうーっと支えて下さった第26期同期会会長古田勝一氏、奥様（第28期）、そして二人のお嬢様に心から御礼申し上げます。そして三商の同窓生の熱い応援に感動しながら、三希展を無事終えることが出来ました事。感謝を込めてご報告致します。有難うございました。

出品者

- 豊田紀雄 (第26期)
- 水上健二 (第26期)
- 北島朝子 (第28期)



羽生善治、国民栄誉賞

山中伸弥ノーベル賞
両氏の対談 に学ぶ

第22期 荻野弘康

三商会計人会 副会長
中央大学会計人会 会長

人間の未来 AIの未来

はじめに 本誌は二〇一八年二月に羽生氏の国民栄誉賞（永世七冠王）を期に山中教授（ノーベル賞 I P S細胞関係）との対談が講談社の企画により発刊されたものである。AIの進化により産業構造から国民生活まで多くの議論推論がなされている昨今、世界的な頭脳のリーダーともいべき両氏の大変貴重な対談であります。

*人工知能（AI）に負けたプロ棋士

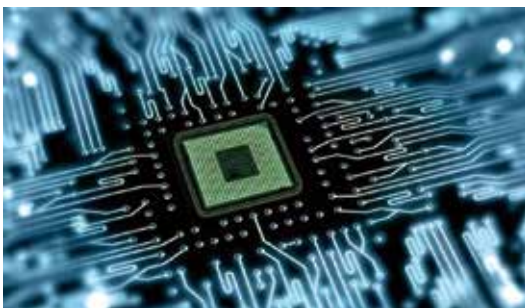
囲碁や将棋には多くの複雑な変化があり、プロ棋士同士が場面から先の変化を読み合っている。近年AIの進化により世界のトップクラスのプロ棋士が時折敗れるようになってきているが、AIの進化は囲碁、将棋の世界だけではなく、IPS細胞関連の生理学、医学賞でノーベル賞を受賞した分野でも多大なる役割を果たしているのである。

ソロバン時代の我々は、電卓や計算機の進化を目前にしている。記帳や計算の世界では、とうの昔にあったことである。現在でも全国高等学校校珠算大会（中央大学白珠会主催*三商OBの谷内行夫、水口氏が担当）が盛大に行われています。

*AIの進化でオリンピックは無くなるのですか
平壤冬季五輪から国内の各種のスポーツでは、素晴らしい優秀な選手が活躍しており、二〇二〇のオリンピックは我が国の開催地で国民多くの期待と希望が拡大しつつあります。

バイクが人間より速いからといってオリンピックがオリンピックが無くなるわけではないのですよ。人間は人間として進化していかなければならないのである。

AIは、企業、産業か



ら人間生活のツールとして使いこなすことこそがメインなのである。

「AIは、抜群に優秀な部下の一人」として有効活用していくことが大切なのである。

＊＊善用○ 悪用●に要注意、監視

日常生活においても関連の技術進化により利便性は飛躍的に向上しているが、連日の如く悪用の案件が伝えられている。

振り込み詐欺に始まり、座間市の九人殺し、国家的な犯罪ともいべきサイバー攻撃、厚生労働省の情報の管理ミス（四千人もの受給者が受給せずに死亡しているなど）があり、悪用には強い監視が必要である。

＊＊山中教授はマラソンと囲碁が趣味

山中教授のマラソン好きは有名である。42キロのフルマラソンを楽しんでいるという。また、研究室での休憩時にはインターネットで囲碁を楽しんでいるという。

羽生永世七冠もネット碁を楽しんでいるそうです。庶民も善用で楽しみましょう。

むすび「人間万事塞翁馬」

山中教授の研究室に大書された額が飾られています。

「この世の中は何が幸いするかわからない。」という考え方に同意する座右の銘だそうです。

山中教授のような偉人でも、人生いろいろの出来事や案件にはプラス思考で立ち向かってきたのですね。

庶民、凡人にも大変参考になりますね。明るい未来を目指しましょう。

山中伸弥（やまなかしんや）

一九六二年、大阪府生まれ。神戸大学医学部卒業。大阪市立大学大学院医学研究科修了（博士）。米国グラッドストーン研究所博士研究員、京都大学再生医科学研究所教授などを経て、二〇一〇年4月から京都大学iPS細胞研究所所長。二〇二二年、ノーベル生理学・医学賞を受賞。

羽生善治（はぶよしはる）

一九七〇年、埼玉県生まれ。将棋棋士。一九八五年に史上3人目の中学生プロ棋士となる。一九九六年には竜王、名人ほか7つのタイトルすべてを獲得。棋聖のタイトルを保持していた二〇一七年に竜王の座に返り咲き、前人未到の「永世七冠」の称号を得る。二〇一八年二月に国民栄誉賞受賞。

遠くなったあの日の事件

第21期 高野 昇

昭和24年7月6日、戦後の初代国鉄総裁「下山定則」が轢死体で発見されました。戦後史最大の謎「下山事件」です。戦後の混乱が冷めやらぬ、GHQ（連合国軍最高司令官）占領下に起きた、事件、でした。その轢死体が発見された場所は国鉄常磐線と東武鉄道（現スカイツリーライン）が交差する北千住を出て荒川の鉄橋を渡った所でした。常磐線は北千住―綾瀬間、東武は小菅―五反野間です。母方の身内

が小菅（葛飾区）に住んでおり、かなり親しく付き合っていた時代で私はこの事件の二日前にこの家を母親と妹、弟と訪ねていました。そんなことからこの事件発生は凄く心に残り、いまま何か釈然としなない思いが続いています。自殺か他殺か、死後轢断か



生体轢断か、遺体解剖で東大古畑種基教授の生活反応が少ないとする死後轢断説（他殺？）と慶大の中館久平教授の（生体轢断説・自殺？）の解剖をめぐる論争、警視庁内部での意見の違い、一課は自殺説、二課は他殺説、毎日新聞の自殺記事、朝日・読売両社の他殺説の論争など様々な問題が起こり、事件前日が職場を整理される国鉄職員の名簿が発表された日であったのが自殺、他殺論争のカギとなったのは事実です。整理対象者の名簿は7月3日には発表される筈が翌日の7月4日はアメリカの独立記念日そのパレードが皇居前で開かれることになっており、政府、国鉄、およびGHQは国鉄労組や左派系などによるデモや暴動を恐れて5日に発表することになったようです。そしてその日に下山氏が行方不明になっています。犯行内容からして、左派系国鉄労組の仕業とほとんどの人が思っていたのが風評としてあつたのは否めません。現場が親戚筋のすぐ近くでもあり、その二日前に小菅の家を訪ねたこともあつて中学2年生だったにも拘らず関心をもって事件の成り行きに思いを馳せていました。その後三商在学中も何度か知り合いの家に行った時は現場を線路の土手下から見たり、下山が休憩したとされた旅館を探したりした憶えがあります。事件後70年が過ぎた今、謎の事件として迷宮入りとなり事件の背景、国情、GHQなど思

いを巡らしてはいても真実は「下山」のみが知る戦後最大の謎の事件だったのは事実です。松本清張の「日本の黒い霧」、朝日新聞で当時取材に当たった矢田喜美雄の著書「謀殺下山事件」（これは松竹映画が仲代達也主演で映画化し一九八一年の日本アカデミー賞を取っています）その後の平成17年と19年、柴田哲孝氏が書いた『下山事件最後の証言』（私が買い求め読んだのは平成19年8月）で他殺の実行犯を確信しての著書が発刊されています。内容は事件数年後から言われ続けられていたマスコミや清張や矢田氏のほぼ思惑どおり、ストライキを掲げる強行な左派系国労の仕業のように見せかけてのGHQによる策謀と陰謀であったことが書かれています。組合扇動による共産化を恐れるGHQや、ドッジラインによる首切りに戸惑う国鉄幹部、政府：結果謀殺組織に日本人を使い、7月5日日本橋三越で姿を消したその夜轢断死していました。

柴田、矢田両氏は、目をつむったその時の内閣の一部の人、策略に手を貸した日本企業など微に入り細にわたり徹底的に資料、調査、面接を行い、ミステリー小説を読むような迫力がある本でした。清張の「日本の黒い霧」とは多少違う部分もありますが、おおよそは同じ意味をもつての2冊の内容です。実行犯かと思われる人物の一人が著者柴田氏の祖父であることを本人柴田氏が巻頭から書いておりシヨックキングな出だしです。事件当時は私はまだ中学2年で当たり前ですが国情やGHQなどの詳細を知る術もありませんでした。数年後図書館で事件に関連する本に触れる機会があり、怖いもの見たさと興味が沸いた次第で、今日に至っています。それで知ったことは当時の日本経済の建て直しのGHQの政策で、ドッジライン（対日経済政策）なる引き締めが

おこなわれ政府も了解、ドッジラインによる日本経済の引き締めと建て直しの最大目標であった三大公社（国鉄・専売・電話局）と各大企業の「首切り」（国鉄は10万人・東芝など）を實行、その最大が国鉄だったのを知りました。あわせて対ドルが三六〇円に決まりました。労組の猛反対と、スターリンと毛沢東による共産主義的な勢力の日本国内での拡大を恐れたGHQと板挟みの心境の政府。その関係者の中には当時の、その後の超大物の名が出てくるのも驚きでした。吉田茂、白洲次郎、岸信介、児玉誉士男、佐藤栄作、迫水久常、大屋晋三（のち帝人社長）、水野成夫（のちフジテレビ社長）などが下山氏と大小の差はあっても関わりがあったことも知りました。

事件の結果は捜査当局が自殺か他殺によるものかさえ明るみにしないまま、捜査員は転勤などで離れ（離された？）昭和39年に時効をむかえています。事件の同じ年の数か月後に福島松川で、都内の三鷹で国鉄車輛の脱線転覆事故が相次ぎました。国鉄三大ミステリー事件と言われています。「松川事件」は完全なデッチ上げで、小説家の広津和郎が被疑者の無罪とでつち上げを活発に新聞、雑誌に書いていたのを後に図書館で知りました。死刑判決の4名が最高裁判所の差し戻し判決の結果無罪となつていきます。「三鷹事件」で死刑判決を受けた竹内被告は無実を訴えながら、全てを語らずして脳梗塞で獄中死しています。あらためて清張の本、柴田氏の六百ページにもわたる文庫本をこの正月に読み返し、自分なりの解釈で結論はできたものの、未だに謎は謎としての部分が心の底に澱んでいます。国鉄三大ミステリーは全てが闇の彼方に去り、忘れ去られています。

母校の体育祭 2018

第26期 岩瀬和子

5月18日母校の体育祭へ三浦会長が行かないというので行ってきました。前日より少し日差しがやわらいでいたのですが、好天の日でした。父兄の皆さんはテントがないので、日傘をさしたりして、日差しをしのいでおられました。

校長先生が凍ったお水のペットボトルを下さり、何も持っていなかったので助かりました。昨年の運動会の日もすごく暑く、午後から百人くらいの生徒が気分が悪くなり、救急車が2台来たそうです。今年は水分を充分用意するよう指導したそうです。午前の競技が終わり教室へ戻る時、玄関でクラス別にペットボトルがあり、先生が渡しておられました。昨年の件があるので、気を使っけていて大変だなあと思いました。

体育祭のスローガン「やれば出来る 全力の戦。燃えつきろ三商・体育祭」私達の頃より運動場が広くうらやましく思いました。T・C・Sの3チームに分かれ、それぞれのTシャツを着用してはなやかでした。

商業学校として電卓で計算する競技、正解するまでやりなおしです。女子、男子の棒引きレースは迫力があり、面白かったんですが、砂埃があまり困りました。

各学年全員リレーは走る順など、各チーム考えての

レースですごく速い人がいても、最後までそのチームが1位とは限らず、面白かったです。
 久しぶりに若い人達が一生懸命やっている姿を見て感動しました。



同窓会事務局について

三商生にはなじみの深い門前仲町駅から徒歩5分、6分の江東区牡丹町に、同窓会事務局があります。同窓会活動の拠点として、平日の日中は事務員が常駐しています。各種の打ち合わせ、会議も行われています。同窓生同士の連絡中継点としての機能も持ち合わせておりますので、個人情報等で連絡先の表記を避けたい場合などにもご利用いただけます。

当会報の発送作業や、毎月のホームページの更新などもここで行われています。

10人程度の同期会等の幹事打ち合わせの場所としてもご利用できます。詳しくは事務局までお問い合わせください。また、事務局にお運びいただく際も、常駐事務員が一名なので、不在の時などもあります。事前のご連絡をお願いいたします。

ご連絡は下記奥付内の連絡先のほか、ホームページお問い合わせからメールでご連絡もできます。ぜひご利用ください。

三商同窓会ホームページ <http://tcsaa.jp/>

「都立三商」で検索

会 報 原 稿 募 集

毎年夏ごろに同窓会報は発行されます。

- ◇ 同期会や有志の会での報告
 - ◇ これから開かれる会合の仲間への連絡
 - ◇ 三商時代の思い出・卒業してからの歩み
 - ◇ ご自身の近況
 - ◇ 日々思う事柄、エッセイ
 - ◇ 趣味の文芸作品など
- 毎年、5月末日あたりを締切に多くの方の「同窓生の声」を募集しております。手書き・ワープロ原稿・メールによるデータ送信どちらも受け付けております。同窓会事務局までお願いいたします。資料・写真などもございましたら、一緒にお送りください。

編 集 後 記

今年も会報発行が遅くなりました。楽しみにされている方に深くお詫び申し上げます。
 今年は母校90周年記念号として、普段よりページ数も多く、製本方法も変えデラックス版としてお送り

しております。

特に昨年11月に挙行された記念式典・行事につきましては、多くの写真を使い当日来られなかった方に少しでも雰囲気をお伝えしようと思いました。いかがだったでしょうか。

また、90周年に因み、多くの方に「三商と自分」をテーマにご投稿を頂き、それぞれの思いを伝えて頂きました。それぞれの世代、それぞれの環境の中にある母校への思いと、仲間たちの今を感じ取っていただければ幸いです。

最後になりますが、ご投稿いただいた同窓生の皆様と、編集のお手伝いを頂いた同窓会理事、広報委員の皆様には厚く御礼申し上げます。

編集担当 岩瀬茂幸（49期）

三商同窓会報第五十七号

平成30年8月1日発行

発行者

都立第三商業高等学校同窓会

発行責任者

都立第三商業高等学校同窓会 広報委員会

篠崎 清 岩瀬茂幸

編集者

東京都江東区牡丹1の12の8 三商会館4階

都立第三商業高等学校同窓会事務局

杉本 光男

電話 03(3643)3392

ファクシミリ 03(3643)3396

印刷所

オフィス岩瀬

割箸・テーブルウェアで109年



株式会社 **赤田本店**
AKADA COMPANY, LTD.

代表取締役 赤田安司
(第34期)

電話 03-3625-4184
FAX 03-3625-9399
メール akada-honten@mx5.ttcn.ne.jp

〒130-0001
東京都墨田区石原三三〇・九
TEL: 03-3622-5592
FAX: 03-3622-5592
E-mail: unagiya@jcom.home.ne.jp

高木利夫
(第三十三期)
元史学部

川勇

創業明治四〇年
下町の味を伝えて一世紀
うなぎ

Sugimotokouji

株式会社 杉本好二商店

代表取締役 杉本光男

第26期 (卓球部)

〒130-0002 東京都墨田区業平1-17-5
TEL 03-3623-2185
FAX 03-3623-1859

砂利・砂・セメント・碎石
生コンクリート・アスファルト 販売店

『両国の駅のおそばの大関庵
味も良ければ盛りもよいよい』

そば処 大関庵

19期 大関守

JR両国駅西口
国技館通り中程

TEL.03-3631-0728

番号印刷専門

スドウナンバー

31期 須藤義勝

〒104-0043 東京都中央区湊 2-3-3
Tel.03-3551-9078 Fax.03-3553-8486

(第21期) 平林 慶雄
03(3644)4487

有限会社 平林油店
(エネオスフロンティア 特約店)

南砂SS (03)3644-6161
江東区南砂3-4-5
宇喜田SS (03)3680-2541
江戸川区宇喜田1223
自宅 (03)3644-4487
江東区南砂4-19-13

株式会社 **エイケン**
相談役 今泉清
(31期)

〒130-0001
東京都墨田区錦町七丁目九番地
TEL: 03-3622-5592
FAX: 03-3622-5592

公認 不動産コンサルティングマスター

西邨 昭一 (第31期)

一般社団法人 千葉県宅地建物取引業協会
公益社団法人 全国宅地建物取引業保証協会千葉本部
専任相談員

〒260-0024 千葉市中央区中央港1-17-3 (千葉県不動産会館)
TEL: 043-241-6671 FAX: 043-245-0866

(自宅)
〒279-0042 浦安市東野2-6-1
TEL: 047-353-0932 FAX: 047-353-4533

そば屋 **みっま**

住所/130-0022
東京都墨田区江東橋
4-20-4

TEL/03-3631-5850
定休日: 土曜及び祝日です

河西紀道 第25期
(墨田区食品衛生協会会長)

手打蕎麦



(墨田区銘品名店会)

細く長く 大きく長く どちらも自然食

江戸蕎麦手打處 滋味、旨酒

創業 安政元年
御蔵前

あさだ



営業時間 平 日 11:30 ~ 14:30
17:30 ~ 22:00
土曜日 11:30 ~ 14:30
17:30 ~ 21:00
定休日 日・祭日・第3土曜日

2階椅子席(10名席・20名席)にて、御会食にご利用ください

江戸通り、蔵前と浅草橋の中間

〒111-0053 台東区浅草橋2-29-11



電話・FAXとも (3851) 5412

<http://www.asada-soba.co.jp>

(第28期) 粕谷安孝

代表社員

荻野弘康 (第二十二期)

税理士法人

荻野会計事務所

経営革新等支援機関

— 経済産業省 —

中小企業、納税者の権利拡充に努めます。

東京都荒川区南千住五-125-14
〒111-6100033

TEL: 03-3803-1328

FAX: 03-3805-1069

MAIL: zeigj@d3.dion.ne.jp

～同級生からのコメント～

昭和29年10月第1回全国高等学校簿記コンクール
に出場団体戦優勝都立三商(荻野・西脇・中川)
個人の部優勝(荻野弘康)

リサイクルショップ
てるてるぼうず

代表 大石傑一郎
(23期珠算部)

曳舟本店 〒131-0032 東京都墨田区東向島2-14-1

メゾンド大石1F ☎3616-2434(代)

自宅 〒111-0051 東京都台東区蔵前4-28-5 蔵前大石ビル4F

☎3861-0084 FAX 3861-0067

有限会社 みのる不動産

都知事 (13) 21090 号

公益社団法人 東京都宅地建物取引業協会 会員

代表取締役 三川 廣志

(第 3 4 期)

■ 亀戸店 東京都江東区亀戸7丁目11番12号 京葉道路面
TEL (3684) 5851(代) FAX (3684) 5850
E-mail: mk@e-minor.com

■ 本 店 東京都江東区北砂7丁目4番3号 環状四号面
TEL (3644) 7573(代) FAX (3640) 2543

関西風お好み焼き

どんどん亭

33期 坂口保夫



森下交差点角 すき屋並び
定休日月曜日 営業時間 17時～23時

電話 03-3635-4823
江東区森下2-18-1

魚河岸

海老・貝仲卸

土方商店

土方敏之 (第29期)

〒104-0045 東京都中央区築地5-2-1
電話 & FAX 03 (3541) 8408



御菓子司

翠平江堂



本店 中央区新川二一七-十三
03-3551-5728

大手町店 千代田区大手町一六-一
03-3201-1218

大手町ビル地下2階

有楽町店 千代田区有楽町一十二-一

新有楽町ビル地下1階

03-6259-1715

細田木材工業株式会社



取締役相談役
細田安治 (19期)



合法木材供給
事業者認定
[輸入協-037]

〒136-0082
東京都江東区新木場 2-5-3

☎03-3521-8701

fax03-3521-8708

e-mail: yasuji@woody-art-hosoda.co.jp

http://www.woody-art-hosoda.co.jp/



ISO9001

夜 03 (3833) 4529
昼 11時～14時半
17時～21時半
文京区湯島3-8-1

菜肴
ますだ

とんかつ 串揚げ
かつ進

神田鎌倉橋店 03-3255-1298
外神田店 03-3332-2981

26期 増田進一郎
31期 増田トシ子

総合印刷プランナー



印刷の事なら何でもご相談ください
企画・デザイン⇒印刷・製本⇒納品・発送代行

オフィス岩瀬

第49期岩瀬茂幸

TEL/FAX: 03 (3877) 9520

E-mail: s_iwase@jcom.home.co.jp

おしゃれエプロンメーカー

有限会社 篠崎

取締役会長 篠崎 清 (第22期)

〒272-0021 市川市八幡4-17-33

TEL047-334-5027

Fax047-334-5432

TBC
the best creation
CREATION



生活空間応援します

不動産のことならご相談ください。
住宅・事業用など
トータルサポート致します。

【当社開発事例 イメージパース】

狭小地・旗竿敷地など難易度の高い敷地
その難易度の高い土地を有効利用したアパート
シリーズ「Creation」

(公社)東京都宅地建物取引業協会会員 東京都知事免許(13)第26577号

 **大雄開発株式会社**

〒136-0072 江東区大島1-29-6 アプローズ西大島101

代表取締役会長 松岡雄治(第26期)

TEL: 5628-1511 FAX: 3636-2292



物件情報満載HP

売買情報<http://www.daiyukk.co.jp> 賃貸情報<http://www.daiyukk.com>

『新着物件情報』・『オープンハウス情報』など掲載中です!!

強力な経営参謀ソフト

パソコン・ソフトの開発と販売 Excel版

常にリスクを考え戦略を立てる先見経営・先行管理ソフト

【資金繰り】・【先見経営】・【財務会計】

経営動向・決算予測・経営分析・中期5か年計画・資金

北海道から沖縄まで中小企業、及び全国の会計事務所に納品しています。
ビックサイトに出店経験あり。「お役立ち会計事務所全国100選」に掲載。

会計・経営・相続 相続無料相談(予約制)

田村博税理士事務所

税理士 田村 博 18期

104-0041 東京都中央区新富2-2-11 須永ビル 中央区役所前
TEL 03-3552-3638 (代) <http://www.tamcon.co.jp>



第22期 皆川泰藏

各種ご宴会・ケータリング・ご宿泊・ご婚礼に。

船橋市災害時帰宅困難者支援施設

船橋 **グランドホテル**  

273-0005 船橋市本町7丁目11番地1号 J R 船橋駅徒歩3分・駐車場80台完備

TEL 047-425-1121 

WWW.funa-gh.co.jp

船橋グランドホテル



あなたに届けたい心と体の健・幸・美

DMJえがお生活®

日々、健やかで元気に暮らせることって、何よりも幸せ。ご家族が笑顔で結ばれます。DMJ えがお生活は安心と安全を第一に、高品質な健康サプリメントを提供しています。

元気をつなぐ。

笑顔をつなぐ。

DMJ企業グループは健康食品事業、通信教育事業、通信販売事業など多岐に渡り、各種商材をテレビ、新聞、雑誌、カタログ、インターネット等の様々な媒体を通して、お客様の豊かな生活を提案しています。

DMJ

DIRECT MARKETING JAPAN CO.,LTD.

企業グループ

- 株式会社 ディーエムジェイ
- 株式会社 全日本通教
- 株式会社 全日本通販

取締役会長 西方勇雄 【第29期】

【販売実施名称】

- DMJえがお生活
- 日本カルチャー協会
- 日本進学指導センター
- 日本資格教育センター
- 日本能力科学アカデミー
- 日本ヘルスアカデミー
- 日本芸術アカデミー
- 一般財団法人日本健保事務協会

DMJ市ヶ谷本社ビル 〒102-8617 東京都千代田区九段南3-5-9
TEL.03-3288-1311 (代表)

夢をかたちに・・・



中外徽章株式会社

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-2

TEL:03-3294-3431 FAX:03-3294-3436

<http://www.chugaikisyo.co.jp>

相談役 古田 勝一 (第26期)



母校三商は昭和3年(1928年)1月31日設立されました。

祝 母校三商 創立90周年

「生涯青春で有り続けたい」との願いから、第26期は
毎年同期会を開催しております。

第26期 同期会会長 古田 勝一